京城日報

本紙定價 一ヶ月金七拾五錢 [illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行 [illegible]
發行兼編輯人 奥 [illegible]
印刷人 小川三之[illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

七月二十五日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇米國の回答遲延

對米回答は電信遲延の關係上多分二十四日石井大使はランシング國務卿と會見せるならん從つて返電到着の豫定より遲延す可し(東京特電)

◇西伯利政府顔觸

浦鹽に於ける西伯利政府の顔觸は

▲首相代理 ラウロフ▲外相 デルベル▲陸相 クロコウエスキー▲藏相 ツルトニヨフ▲異種民族相 オメトーロフ

等にしてラウロフ氏の無所屬なる外は全部社會革命黨なり(浦鹽電報)

◇過激派政府移轉

戒嚴令を布き—陸軍動員を行ふ

イルクツクの過激派西伯利政府は軍事部を除く外全部の行政機關をウエルフミーデンスクに移し同地方一帶に戒嚴令を布き十九歳より三十五歳迄の者の動員を行ひつゝあり(哈爾賓電報)

◇セ軍枝隊の形勢

國境附近に壓迫されたるセ軍枝隊は二十日朝左翼に迫れる敵を擊退し爾後形勢少しく緩和せり(哈爾賓電報)

◇チ軍ブリスク占領

チエック軍はブリスクを占領せり(浦鹽電報)

◇佛軍優勢

シヤトーチエリー占領はマルヌ、エーヌ兩河間に於ける獨軍戰線の一重要點の陷落を意味せり、他の重要地點たるソアソンも最早安全なるを得ざる可く佛軍は漸次占線を擴張す(ロイテル電報)

◇佛軍三地點占領

佛軍はマイイーラネヴイル、ソーヴイアレル、オーヴイレルの三地點を占領せり(巴里電報)

◇佛軍アントル突入

佛軍はアントルビスレーに突入せり(巴里電報)

◇米軍の地點占領

米軍はジヨルゴンヌを占領せり(巴里電報)

◇獨軍放火退却

獨軍は月曜日夜間マルヌ戰線内諸村落に火を放ち徐々退却せり(巴里電報)

◇墺國内閣更迭

墺太利内閣は辭職しチエルニン的新内閣を組織せり(商 報)

◇邦人被害と警告

二十三日夜湖南督軍は外交部を訪ひ湖南に於ける邦人被害に就き警告を爲せり(北京電報)

◇陸軍異動

廿四日發表(東京特電)

青島守備軍參謀長陸軍少將 森 守成
免本職補軍馬補充部本部長
青島守備軍司令部附陸軍少將 向西 兵庫
免本職補青島守備軍參謀長被仰付
第四師團參謀步兵大佐 井上 一次
任陸軍少將 免本職青島守備軍步兵隊司令官被仰付
第二十一旅團長陸軍少將 濱面 又助
免本職補關東都督府參謀長
支那公使館附武官同少將 齋藤季治郎
任陸軍中將
砲兵第二十五聯隊長砲兵大佐 菱田菊次郎
任陸軍少將待命被仰付
青島守備軍經理部長一等主計正 小宮山孝太郎
任主計監補第一師團經理部長
近衞步兵第四聯隊附中佐 樺山 正一
免本職補獨立守備軍第二大隊長
步兵第七十聯隊附同中佐 中頭新左衛門
免本職補獨立守備軍步兵第六大隊長
步兵第七十二聯隊附同中佐 小澤 寅吉
免本職補第十七師團參謀
近衞步兵第二聯隊附同中佐 山口啓太郎
免本職補獨立守備軍步兵第五大隊長
步兵第十九聯隊附同中佐 平澤安次郎
免本職補鮮軍副官
步兵第三十二聯隊附中佐 鎌田 彌彦
免本職補北京駐屯步兵隊長
朝鮮參謀同少 岡 千賀[illegible]
免本職補戶山學校教官
朝鮮軍司令部附同少佐 大塚堅之助
免本職補鮮軍參謀
第十六師團參謀同少佐 平松 英雄
免本職朝鮮軍司令部附被仰付
步兵第七十九聯隊附少佐 服部 [illegible]
免本職補對馬警備隊司令部參謀
騎兵第十五聯隊附騎兵中佐 大關 鈔
免本職補騎兵第二十五聯隊長
騎兵第九聯隊附同中佐 佐藤 榮[illegible]
免本職補第十九師團參謀
砲兵大佐 大橋菊四[illegible]
免本職補野砲兵第二十五聯隊長
朝鮮兵器支廠長砲兵中佐 近藤平三郎
免本職補東京砲兵工廠作業課長

◎ミラー氏出發期

ミラー氏は來月二日頃京城出發大連に赴き便船を待つて歸濟より其の途に就く筈にて氏の後任決定迄は副領事カーチス氏總領事の事務を執る可しと

居留民中等出席す可しと

◎新舊軍司令官

鮮軍司令官より軍事參議官に轉進の松川敏胤大將の出發期は尙未定なるも八月上旬の豫定にて又新軍司令官宇都宮太郎中將の來著期も未だ知らざるも八月上旬ならん

竹内少將 岡少將 高橋少將 立花中將

◎師團長更任期

第十九師團長より第四師團長に轉せし立花小一郎中將は北鮮部隊視察中なるが豫定の如く八月二日任の上新任地に赴くべく後任師團長高島友武中將の來任も八月上旬の豫定なり

◎演習召集期日

鮮軍直屬第四十旅團步兵第八十聯隊(大邱)並びに同聯隊第三大隊(大田)鎭海灣重砲兵大隊に於ける第一次勤務演習召集の豫定は左の如しと尙は第二次演習召集は十一月頃の豫定にて第一次には經理部衞生部の演習を行はずと

▲步兵第八十聯隊(大邱) 九月九日より豫備下士四週間 後備兵卒三週間
▲步兵第八十聯隊第三大隊(大田) 右に同じ
▲鎭海灣重砲兵大隊(同) 九月十六日より豫備將校・五週間 豫備下士四週間 豫備後備將校下士三週間 三十日より豫後備兵卒三週間

◇鈴木長官釜山著

木度支部長は新羅丸にて著釜直ちに當地煙草專賣支所の狀況視察を爲し二十五日夜十一時半發列車にて歸任の筈(釜山特電)

◇長野聯隊長赴任

新任八十聯隊長長野竣磨中佐は新羅丸にて著釜二十五日午前十時半發大邱に赴任せり(釜山特電)

◎ミラー氏別宴

山縣政務總監は二十九日午後七時今回米國國務省課長に任命せられたる元京城駐在米國總領事ミラー氏を朝鮮ホテルに招待送別の宴を張る可く在京各國外交官及び總督府[illegible]

◎陸軍要部異動

朝鮮關係將佐官の大更迭

過般發表されたる陸軍大異動は朝鮮關係將佐官の主なる異動左の如し

任陸軍少將補騎兵第二旅團長 野砲兵大佐 岡本 功
步兵第十聯隊長陸軍步兵大佐 白石 通則
補第十九師團參謀長 步兵第三十九聯隊長 早川新太郎
補步兵第三十一旅團長(富山) 陸軍步兵大佐 井戶川辰三
任陸軍少將補步兵第三十九旅團長 大佐 東 正彥
(平壤)
任陸軍少將補步兵第二十七旅團長 陸軍砲兵大佐 宮下 普吉
(羅南)
免本職待命被仰付 陸軍砲兵大佐 垂井 明平
任陸軍少將補鎭海灣要塞司令官 永興灣要塞司令官砲兵大佐 杉本 弘隆
任陸軍砲兵中佐補函館重砲兵大隊長 永興灣要塞司令官 陸軍砲兵少佐 小林 鉦一郎
補永興灣要塞司令官 陸軍步兵大佐 松木 直亮
任陸軍少將 步兵第七十八聯隊長 池内英太郎
步兵第八十聯隊附步兵大佐 齋藤常三郎
補陸軍戶山學校兵學教官 鎭海灣要塞司令官少將 高橋綏次郎
補廣島灣要塞司令官 第十九師團參謀長 村田 信乃
補朝鮮總督附武官 朝鮮軍副官中佐 竹内 榮喜
任陸軍步兵大佐 第十九師團參謀中佐 小出 三郎

▲憲兵隊長異動

七月廿四日附にて平壤憲兵隊長米次郎氏は待命となり後任に安東道警務部長憲兵大佐服部米次郎氏は安東道警務部長憲兵大佐に咸鏡北道警務部長佐山本喜房氏は中佐に陞進して待命となりたる結果同日附にて憲兵隊長兼務部長に左の通異動あり

成興憲兵隊長憲兵中佐 小河市之丞
補平壤憲兵隊長 憲兵大佐 大橋 又三
補咸興憲兵隊長 旭川憲兵隊長憲兵少佐 松倉清次郎
補義州憲兵隊長

◎未曾有の異動

將官で殘されたは我輩一人

市川軍參謀長の談

同表された陸軍の大異動は鮮在勤將校の更迭陸軍待命等の點に於て正に未曾有であるが、之に就き市川參謀長は語る

▲將官級に見るも松川大將の軍事參議官、立花中將の第四師團長、古海總長の第十七師團長、武官の廣島灣要塞司令官それぞれ轉出、第十九師團長の内田旅團長の準級待命其他ら大蔡旅團長の轉任、第十九師團參謀長の岡本大佐も少將に進み第二旅團長に榮進した、其他經理部長の廣瀨主計監軍醫部長の佐藤軍醫監の相等官を除けば將官級で現地位に居殘つてゐるのは

▲我輩一人と云ふ譯で盛者のみぎり聊か取り殘された嫌いの感もある新司令官の宇都宮中將は豪膽堅實現今軍部内の偉才である、今朝の京日に出てゐた松川大將の新司令官觀がよく當つてゐると思ふ、始終參謀本部や軍省の要部にばかりゐた方で聯隊長を一年ばかりと師團長に親補されて旭川と大阪の兩地に四年餘り居られた位であらう、第十九師團長の高島友武中將は立花師團長と近衞步兵第二旅團長時代にその下の聯隊長をしてゐた人である、人物は立花將軍がよく知つてゐられる、立花將軍が師團創設の際より盡力精勵され今日殆んど完成に近づいた

▲第十九師團の長として高島中將の來任を見たのは偶然ミ云へ面白いではないか益々趣味が深い、永年朝鮮陸軍の要部を占められた立花中將の大阪轉出は喜ばしいが先づ栄轉である、別に師團に格式ミ云ふものはないが大阪の師團は管下に中將の司令官たる良要塞を有して居るし土地が關西の大都であり地方官なども高級者がゐて、常に上級の師團長が据はる慣例のやうだ又宇都宮中將は日露戰前は知らぬが大阪の師團長をした人は皆大將に陞進してゐる、警務總長の古海中將の岡山の師團長榮進も久しい間の中將の師團長轉が實現したので何しろお目出度い譯である

▲參謀本部の部長から海將軍の跡を襲つて朝鮮の陸軍に來るべき兒島中將は我輩が幼年學校時代からの友人で十年前も同年であるので何も話す事がないが兎に角參謀本部の部長をして知り過ぎてゐる人だから同期の將官たるは勿論、陞進も常に先輩を拔いて同期生中中將に進んだのは君ばかりである、ミ云ふのでもその人物は分らうではないか

◎京電の借入金

京城電氣會社にては二十二日午前十時東京本社に於て臨時總會を開き左の議案を可決せり、軌道財團及電燈工場財團を擔保として金五十五萬圓を借入るゝ事但し年利七朱以内支拂期限は大正十年一月末日、一、右に關する一切の手續きは取締役に一任する事

◎殖銀設立景報

▲證據金の緩和

内地における殖産銀行申込證據金の額は一株二十五圓なりしが證據金は二十五圓の中僅かに五圓となして證據金の額を取扱ひたる現に開かれたる旨であり一方民間資本調達の必要より一問題を惹起し居たるが證據金は必ずしも現金ならずとも確實の有價證券並に一流銀行の預金證書にて差支なき事となり當初豫期せし如き波瀾を惹起さずして終了せしなり

▲殖銀株申込

東京よりの報には殖銀株全部引受者の二は申込みをなさんとの向もありしが取扱銀行に於ては取扱店の注意により公募株數以上の申込みは拒絶せし模樣なれば昨日の分は十三萬餘株を一人にして申込みしもの三四名ありしと

▲優先申込漸增

總督府の方にて分擔の取扱上の株主の優先申込み數はその後增加し結局五萬株に達する模樣にて優先權を棄權せしものは六千内外に留まるべく成績は良好の方なりしと

◎鑛業登錄(自七月十六日至同十七日)

▲鑛業權設定
咸鏡北道清州郡ト院面
金銀 一萬三千百卅六坪 李熙、金商佐
タングステン鑛 忠淸南道藍浦郡鍋南面
大田郡九面
金銀 平安北道 二十八萬百六十四坪 合資會社高田商會
三十萬千九百十坪 韓徹純、洪祐[illegible]
金 黃海道 二十四萬七千九百八十坪 小島[illegible]
十二萬四千三百六十二坪 高橋純太郎、金[illegible]
砂金 北道 十八萬八千八百九十六坪 河野勘一、柴田常[illegible]
石炭 平南北道 九十二萬九千四百七十五坪 品田[illegible]
砂金 全北道全州郡 十七萬五千五百十六坪 [illegible]
黑鉛 黃海道 三萬四千六百二十坪 沈宜[illegible]

◎正米市場委員會

正米取引市場が京城に設立さるゝ事は本紙既報の如くなるが本市場は京城穀物商組合ミ稱し二十五日午後二時より共益社樓上に於て創立委員會を開催する運びとなりたり然して今回の委員會にては商組合の設立前途、創立總會の準備事務及び其の日取り其他の件に就いて打合せを爲す由なり

◎警報信號所新設

北慶興郡の面廣西面水鐵洞に暴風報信號所を新設し七月十八日より信號を揭揚す可き旨二十六日告示さる可し

◎李全北長官出府

全羅北道長官は某般事務打合せの爲め二十四日附往復七日間の豫定を以て出府を命ぜられたり

◎工藤課長歸省

工藤課長は往復三週間の豫定を以て二十四日午前八時四十分發車南山に歸省したるが同課長不在中は高山事務官代理執務すべし

◎小倉師團

一兵も動かず

小倉新聞記者は從來第十二師團司令部ミ交渉の結果相互の便利を圖り火木土の三日において師團内における新聞記事を公表する事となりゐたるが近來師團の動靜に就いて揣摩臆說を逞しうせる記事を揭載する新聞紙あり甚だしきは既に出征せるが如き報道を爲し世人の疑惑を深くするミ共に師團側にも甚だしい迷惑を感じたる處からざるを以て廿三日より每日一時午後一時の兩回に記者に發表する事となり師團側においても膠着に就ては二十五六日までには人と動かさゞる限り師團の内外を明かにする事を得べきが今まで師團ミ會見し師團側にても膠着に關して斯く兵を動かすものなしと師團側において言明する處ありたり(門司)

◎學習院生來鮮

目下京城方面視察中なる學習院職員生徒一行約四十名は八月八日午後南大門驛着入京一泊の上翌日京中内を見學す可しと

◎天王寺中學生

目下京阪方面見學中なる大阪天王寺中學生一行卅六名は同校職員二名引率の下に來る廿九日午前八時南大門着入京一泊の上釜山へ向ふべし

◎片山部長の談

鮮米買付に就て

鮮米買付に關する件は既に屢報したるが、片山外米管理部長の談を聞くに曰く朝米二十萬石の買付に關し同業者中無根の風說を流布するものありも鈴木商店に對し一石當り五圓の補給をなせりミ云ふが如きは全然無根の風說にして損失を生じたる場合之れが保證をなし利益は之を外米補給金の内に繰入る、契約なり又當部が同商店をして二十萬石を秘密に買取らせたるが如く傳ふる者あるも之又何等根據なき虛說なり、扨て外米は朝鮮米の移入が當初高値に過ぐると云ふので朝鮮米は殆んど東京に來らず鮮米の出廻り不足に基因して東京市場の米價の騰貴を促したるも正米市場は已に非常な騰貴を示して居り現在朝鮮米の東京市場に於ける在米の不足に起因する鮮米の東京市場に於ける現在高は約二萬五千石なるが此の東京市一日の需要は約二萬石(約十二萬石)を提供東京大阪に搬出廻送せしむる事とし數量は十萬石を東京市場に搬入しつゝある事は朝鮮米の爲めに米價調節上にも出來る限りの便宜を與へ同時に東京大阪の市場に於ける外米の安値と鮮米の高値との差を圖る方針なり(東京)

◎群山と禁移問題

商務省が米價調節策として一部商人に石五圓を補給し全鮮に渉る米の買占めを爲すは朝鮮米界を攪亂するものにして到底一般に賣買せられ内地輸出の禁止に對する[illegible]不許可の米の輸出も禁止するに至るべき形勢となりたるを以て群山穀物協會にては先般來群山米穀商組合より朝鮮穀物協會の提案問題は朝鮮經濟界の重大問題にして當局の熟考を要すべきものに非ず殊に提案の一部は實行不能ミ認むる點もあり研究を要する場合には前記の方法を採るべしとの趣意を以て二十日仁川穀物協會に回答を發したりと(群山)

人の消息

▲小磯虎太郎氏(朝鮮新聞主幹) 二十四日夜内地へ
▲櫻井宗平氏(新潟縣代議士) 二十四日夜内地へ
▲上村少將(飛行副會長) 二十四日夜内地へ
▲牧山耕藏氏(代議士) 二十四日夜滿洲より歸京
▲新井虎太一氏(京城藥業組合長) 東上の處廿五日夜歸京の筈
▲竹中西部鐵道局事務課長 北京に於ける聯絡會議に出張中の處議題外に事引きたる爲め豫定の日取繰延べ見合せ會議終了後歸京したり

★茶前酒後★

一生シーメンス事件に引き擲はれてブンブンして居る山本權兵衞伯は陰では相も變らず猛らしい人物に嫌がられて居る▲權兵衞伯を呼んで同伯は猛虎が大好きで置くへ、虎から掛軸から皆虎やら豹やら獅子やらの猛獸づくめだ何んな▲而して其本の猛獸の方でも妙に似た仲間が居る、との評判▲今度吾妻艦長になつた小田喜太郎中佐は我海軍に於ける水雷術の權威である▲最近は大正九年に觀戰武官として一年在りし事が全盛時代には縁にも繁がる處はないが同伯とは叔父甥である▲過般は大に居心地が良いとの事だ▲一度も其の邸に行つた事もない様な熱い男子である▲而の暑い時に水を浴びて居る方が[illegible]を商網介中ミう米國のカリフオルニア洲のインペリアル、バレーと云ふ處は最高溫度百二十度で國中で最も暑い土地である▲而して井戶も水道もないのでエロラード河の泥水を引き各戶各自に清涼な飲料水を配給して居る▲而して其の泥水を應用した五六尺の高さの裝置した石を置いて濾過器にして清淨なる飲用にする事と濾過器は其のタンクから細い吸上式に水を誘導する▲其の水管の中央に銅貨を挿入して其に浸入した水を下の素燒の瓶に落下せしむる▲生處[illegible]濾過された水は殆ど蒸溜水の如くなつて淸冽である▲水道の水ならば其を素燒の大きな水甕に入れて置けば水は自然と淸冽になる水を入れて置くは素燒に限る相だ

國産鋼之權威
株式會社東洋製鋼所製
高速度鋼 炭素鋼 總發賣元
ハガネ一式
株式會社 東洋製鋼商會
大阪市西區立賣堀南通五丁目
電話新町一九九八番 長一九九九番
振替口座大阪 四二五八二番
東京出張所
東京市日本橋區上槙町
電話本局三三五二八番
品質優良 絕對責任販賣

魚釣具 投網 卸小賣
京城永樂町二丁目 吉備商會
電話三一四番 振替京四三八番
カスミ網各種あり 御申越次第定價表進呈

雨合羽 色々
洋傘 雨傘

旅行用具一切
京城本町一丁目 電話一三四番
高木旅行用具店

朝鮮で始めて出來たお伽本
(八月上旬發行)
少年少女の讀物出來
八島柳堂著 古賀祐雄畵
教訓お伽噺
美本 二百五十頁 定價三十五錢 郵稅二錢
少年小女の智識が餘程進んで居る今日では爺婆的のお伽噺では滿足が出來なくなつて新しい智識を得るお伽噺を渴望して居る事は事實です
今回發行のお伽噺は文章が平易で總て新智識によつて作られて有りますから尋常一年生でも十分に讀めます而して眞に勉學の助けとなります殊に
暑中休暇の讀物として好適なものであります是非御一讀を乞ふ
發行所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

世界第一の最大工場。衞生設備の完備。最優良品たる自信と信用を有する鷲印ミルクは今や世界に其陰を見ざる處なし。
金錢に代へられぬ御愛兒には品質本位の鷲印ミルク御使用を乞ふ
米國紐育市 ボーデン鷲印ミルク製造會社

大正七年七月一日改正現行

○片腹痛い成金國
正貨現在高は開戰前の四倍
になつたが一日一億の軍費を出す米國に比べるとお話しにならぬ譯 それでも本年末には十四億の金持になる

日本が戰爭のお蔭で成金國となつたと云ふので口の悪い米國人から『日本には成金と云ふ新階級が出來たさうだが…』などと皮肉られ日本人は自分でも頼りに

◆大小成金 の論據などと云ふ語を用ひてゐる今度の出計畫も懐具合が膨らんだのに氣強つたのだと云はれる、然らば一體その成金國の持金が幾何かと云ふと最近の統計として發表された大正七年七月十五日内外正貨現在高總計は十二億三千五百萬圓である、大正六年十二月の現在高は十一億四百萬圓で大正七年

◆上半期の 増加は一億三千萬圓、昨年の同期と略同額であるが本年の末には少くとも十四億に上るであらう、歐洲戰の始まつた大正三年は三億四千百萬圓で其前年の三億七千百萬圓より減ずること三千萬圓であつた、所が翌四年の末日には五億一千六百萬圓更に五年末には七億一千四百萬圓に達した、所が大正

◆六年末に は十一億四百萬圓の巨額に達し大正四五の兩年で増加したよりも更に一千七百萬圓を増した、本年末となつて十四億に達すれば戰爭の始まつた年の四倍以上に激増する譯で四倍の身上になれば成金國と云つてもよからう、大藏省の物價騰貴原因研究に俟たでも物價の騰貴は通貨の膨脹に原因し通貨の膨脹は又

◆此の正貨 の増加に基因するのであるから正貨の増加を謳歌して物價の騰貴したのを閑却してはならない、況んや對岸の米國が一日の軍費として一億を支出してゐることを思ふならば此位の正貨の殖ゑ方で成金國なぞと云ふ空景氣に氣驕つてゐては將來が氣遣はれる、大に愼まねばならぬと在野の某財政通が語つた

○颱風來か
二十六日頃南朝鮮を襲はん

二十五日正午仁川觀測所では颱風の襲來しつゝあることを發表した其の中心は二十三日小笠原島の南方洋上に現はれたもので其颱風は

◆北西方を 指して進行し二十五日は沖繩群島の奄美大島等に襲來して七百二十五ミルメートルの強速度を示して居る而して其の勢力は去る十二日内地の西部を荒して多大の災害を與へたものと略同程度のものらしい、其の進行方向は目下北西に向つて進んで居るから二十五日夜は九州の東海岸を經て二十六日には

◆朝鮮海峽 に押し寄せさうな狀況である、しかし高氣壓が依然日本海方面にあるから颱風の進行は甚だ遲緩である爲めに漸次北進すると共に其の勢力は幾分弱くなる模樣であるけれど九州及び朝鮮の南部地方では幾分の暴風雨は免れざるべし

○五時半に御起床
著しく御上達と拜す御水泳
午前は水泳午後はローンテニス
——葉山御用邸に御避暑中の東宮殿下の御近狀——

葉山御用邸に御避暑中なる皇太子殿下御近狀に就き戸田東宮主事は語る『殿下には至極御壯健に渡らせられ毎朝必ず

◆五時半に 御起床御洗面の後御禮拜を爲させ給ひ同七時御朝餐御少憩の後約一時間半の御自習を遊ばされます本年當葉山へ御避暑相成りましたのは主として海水浴を爲させ給ふためで御自習が終ると十時過から約四五十分間

◆御用邸前 の海岸にて泳がれます殿下には五年程前に海に入られたことがありましたが夫れ以來は毎年箱根宮ノ下の御用邸内に設けられし幅二間半長さ六間の浴槽に深さ御胸位水を湛へ危險なきやう萬端の設備をした中で

◆御習練を 積まれたことゝて今年初めての海中御水泳も頗る御上達で居ります御學問所からは加藤侍從武官が伺候して正式な水泳を御教授申上げて居ります午後も二時頃から約一時間泳がれますので

◆御皮膚の 色は申すも畏い程黑くおなりなされました又殿下にはローンテニスが非常にお好きで夕涼になると御用邸内のコートで私共や御學友をお相手に盛んに御運動遊ばされます御夕食後は邸内の御散歩をなされ夜は九時に御就寢遊ばされます御滯在は本月一杯の御豫定です

◆◆◆涼味——二十五日午後漢江口上にて

○逃て來る邦人義勇兵
最初の契約と全然違ふ待遇

去月二日義勇兵として四平街より滿洲里方面に出發したる某氏は本月廿日夜生命からから漸く四平街に逃走し返れるが其談に曰く北滿義勇兵は出發當時の約束とは萬事非常の相違にて目下困苦の餘り哈爾賓迄逃走する者多くも路金なき爲め躊躇するを得ず路金を稼ぐ目的を以て同地にブラブラせる邦人尠からず戰地の模樣は朝夕食事は黑パンのみ夜中は貨車中に二階三階と棚を造りて其内に一夜を明すこと有樣明日の生命も圖られざる戰地に於て眠食共に不充分なるは何よりの苦痛殊に邦人は連日のパン食に閉口せり現在日本義勇兵は僅に二三百名にて氣勢揚らず約定の月給も滿足に支拂はるゝの見込なく何れも將來を悲觀せり目下セ軍は滿洲里より三ツ目驛迄占領し居るも敵軍勇猛にして仲々手答あり

○故人を偲びて寄る
二百の巨星
★★★★ 盛んなりし兒玉大將追弔會 ★★★★

故兒玉大將十三回忌は二十四日午前九時芝青松寺に營まれ施主秀雄伯夫妻令弟六人家族始め寺内首相井上侯、澁澤男外相大島陸相其他名士三百餘名列席佐藤住持首相と共に燒香讀經の後一同燒香の上同十時式を了り青山に展墓し江ノ島なる兒玉神社に參拜せり(東京特電)

○草鞋穿きの御輕裝で
裏日本の山河を御踏破
久邇宮朝融王殿下の御壯擧

★裏日本踏破の御計畫を試みらるゝ久邇宮朝融王殿下

久邇陸軍中將宮の第一王子朝融王殿下(御年十八)には目下江田島の海軍兵學校に御在學中であるが此の夏休みに裏日本即ち

◆北陸一帶 の山河を思ひのまゝに跋渉遊ばさるゝ計畫である殿下には此旅行中腰に水筒を附け草鞋を召さるゝのであるといふそれの一海軍兵學校生徒の御資格で御跋渉遊ばさるゝ御計畫は既に定まり二十五日頃東京御出發、日數凡そ三週間ばかりの御豫定で先づ

◆碓氷の嶮 を越て新潟縣下に出で越後から順次に越中越前と行く行く山川の風景風俗などを探り福井市に御休養夫から米原に出で名古屋から御歸京の筈である一行は江田島にて始終殿下の御學業を承つてゐる小檜山海軍少佐及び木村久留宮事務官外に家從二名の五人で、寫眞器、寫生用品、動植物の採集用具、ハンモック抔の旅行用具を携へて行かれる筈

○不注意外人
關門の要景に醉て要塞地帶を撮影す

二十三日午前九時三十八分下關着特急列車より外人夫婦が手に寫眞機を持ち下車し十時卅分出帆の連絡船高麗丸に乘船したるが出帆間際に棧橋の風光を賞しつゝ、出めるボーイの注意を耳にもせず持ちたるカメラにて高麗丸並に棧橋撮影したるを係官が認め取調べたるに同人は神戸に於て商業を營み居る英人チーメーコック(三)にて今回天津に赴く途中なるが餘りに風光の美なるを見て要塞地帶とは知らず撮影したりとのことに今後の注意をなしフィルムは沒收し釋放したり

▲榮轉する兩將軍
高橋少將と岡本新少將

▲研究も出來る勉學も能きる　廣島要塞司令官になつた高橋毅次郎少將

總督府附武官より廣島灣要塞司令官に轉補せられたる陸軍少將高橋毅次郎氏を訪へば『予は一昨年四月當地に赴任し今回時節來つて再び

◆内地に 歸る事となつた予は軍人なれば如何なる任地へも唯々として赴くのみである幸ひにして廣島灣要塞司令部は廣島市にあり他の要塞に比して氣候の上にも交通の上にも乃至學校等の關係に於ても最も利便の地にあり然も師團司令部所在地であるので研究の上にも勉學の上にも非常な好都合の地と云ねばならぬ對馬の如く

◆僻遠の 地にて新聞さへも數日後で無くては見る事の出來ぬ所に比ぶれば身に取つて非常な幸福と喜んで居る次第である出發の日は未だ定まらぬがゆるゆる仕度をする心算である

▲溫良の好武官
家庭の人としても長者の風があつた

第十九師團の參謀長として新師團の創設の際から機務を鞅掌して來た岡本功大佐は少將に陞つて習志野の騎兵第二旅團長に榮轉した氏は

◆筑後の 出身稲精悍奇横の好武官語をしても仕事をしても些の澁滯する所がない古花將軍と親しいらしく古花將軍が師團長は同國の出身である故か同參謀長時代その下に中佐の階級參謀をして居たが將軍の騎兵司令官

◆轉任と 共に氏も内地の聯隊長に去り一昨年の夏第十九師團の參謀長として又復朝鮮に來任し今日に至つてゐる顔面は色黑くて鬚が多くて一寸見ると恐いが口を利くとニコニコして顔の造作を崩しいかにも親しみ易い風がある士官學校も陸軍大學も拔群の

◆成績を 以て業を卒へ早くも騎兵旅團長に進んだが將來は何處迄發展するだらう家庭の人としては溫良な長者らしく夫人や令息令嬢を伴なひ日曜や夜間など市内の散策をよくしてゐたのは何人も目についてゐるだらう

○ペロリと平げる
丑の日に二千貫の鰻
京城の人が一年中に食べる數は三千貫 土用に入つて頭を上げて來た鰻の話

今年の土用入日なる丑の日はこの二十九日であるそこで江戸川、松本、金澤と云つたやうな大看板は無論小さな鰻屋に至る迄昨今は鰻の仕込に一生懸命の態であるが一體この鰻は何處から來るか卸専門の

▲龍山の鰻屋 さんの話に依ると京城の人の食ふ鰻は漢江ものと釜山ものと思へば間違ひはないその他の地方からも來るには來るがこれは數量も少い知れた者である釜山ものは

産が一番多く次は鎭海附近の洛東江であるが朝鮮では太さに於ても味に於てもこの釜山ものが一等、漢江ものは味はよいが太さに於て落ちるばかりでなく

▲漁期が土用 の前から秋の初めに限られてゐて雨でも降らぬ限りこの頃漁獲することは六ケ敷い從つて土用鰻としては數量が極めて少いと云ふ憾みがある鰻は水がなくとも二三日は生きてゐるから鯵送上頗る便利な點がある殊に釜山あたりから送つて來るのは鰻を大きな籠に入れその中に氷塊を入れただけであるがそれでも決して弱らぬ水の中に棲息するものだから水がなくては

▲鰻は却つて 弱つてしまふそれで水でも入れて送らうものなら目的地に着く迄には大半死んでしまふのが常だと云ふ京城には鰻の卸屋が鮮人側を合せて三軒ばかりある時季になると市場でも少々の鰻は取扱ふがこれ等は主に賣の手から得意先の口に這入つて仕舞ひ専門の鰻屋は矢張卸屋から卸して貰ふ四季を通じて需用があるのでこれ等の鰻屋は年に三千貫以上の

▲鰻を割くが 何と云つても需用の一番多いのは土用で殊に丑の日になるとこの一日だけで二千貫——即ち一年に使ふ鰻の三分の二をペロリと平げてしまふと云ふから凄じい丑の日の所謂

▲鮮人の鰻賣 が籠や桶で大百目五十錢中四十五錢小三十錢であるがこの先雨さへ降らねば丑の日迄にはまだまだ騰る見込だ相な雨が降ると何故相場が下るかと云ふとそれは漢江の鰻が獲れるからださうだこの天氣も飛んだ所へ影響するものである雨が降ると直に百目十五錢か二十錢と云ふ安値で賣歩くのは斯うした關係からであるがこれは安いことは安いけれど暑い日盛りを持ち歩く爲め味が落ちて仕舞ひ鰻の本當の美味は味はれぬ相な丑の日に鰻を食ふ由來については種々の傳説があつて果してドレが本當か判らぬが鰻は脂肪が多い油の乘つた美味い頂上であるから食ふものとして鰻に味ひ得てゐるやうである

緩衝機

古市町と南大門驛 新築問題 寄書歡迎

工事消息通生

龍山古市町の道路改修に就いては昨年既に決定してゐるので本年は當然着手すべき豫定であつたのが當局者の都合上延期され而かも何時着手されるか分らない爲め古市町の住民は一方ならず困惑して居る、若しも工事が來年に延期される樣であれば荒れた家屋も大分は修繕せねばならぬと云ふ樣な者があつて居るが之れは全く無理からぬ意見であると言はねばならぬ者の言ふ如く古市の道路と新築工事とは本年度豫算に計上されて居つたが其の後と土木局から提出された問題と關連して少くとも本年春夏の交には工事に着手すべき豫定であつたから矢張り進捗を展せんとするは當局の見識[illegible]

[illegible]町の道路問題と行上[illegible]龍山間の交通上利便にし一層早く竣工せしめ且つ新築迄つて居る古市町住民諸君に一つの安心を與へるとき出來る樣に住宅の自由に交通が出來るならなかつたものであらう而して之れは丁度本年春頃から勃發した南大門驛の新築問題の爲めに古市町道路改修工事と共に延期さるゝ事となつたらしいものが氣遣ひの種となり自分の事は入門驛の新築問題に關して直接の關係を有する重大問題となりて引かれたものとされば南大門驛新築工事と云ふものに一段の進歩を見せぬのも是非止を得ぬ[illegible]

感謝と苦言 北米倉町表顯生

北米倉町は一帶が低地なる上に溝の土地なるより先程迄は云ふ病の發生稀ならず上下水溝は何の繼続も無く家屋の濕氣も帶びる所少からず石灰の散布又は臭氣も絶えず稀なる衞生設備で汚物の堆積せしも此の頃は先に設けられし清潔保持に努めたる結果[illegible]

[illegible]

○盗んで豪遊する大盜客
本町署の捕物

神奈川縣津久井郡三澤村生れ前科二犯の安藤乙吉は京城本町通二丁目の旅館に潛在し七月二十日一日武官方家人の不在中に忍び込み衣類十六點(二百餘圓)を盜取し各町質屋に偽名入質して豪遊中を本町署に逮捕されし取調の結果同人は第二浦の三菱社宅にても衣類數點を窃取したる旨自白し身柄は檢事局送りとなる

○南本堂前通り僅かに海と化す
撒水電車に故障が起きて溢れ出た水

二十五日午後一時五十分頃龍山を發して南大門通三丁目南本堂前に進行し來れる京城電氣株式會社の撒水電車はタンクに故障を生じて四つの撒水口より猛烈に漏水して周邊一面は忽ち海と化し是れが爲め片側の電車は一時十數臺立往生し附近は頗る雜沓せしが程經て應急修理を濟まし漸く復舊開通せり

○飛行機製作費七十五萬圓寄附
神戸の富豪川西氏

神戸川西清兵衛氏は昨年末より兵庫縣太田町に工場を設置して研究中なりし海軍機關大尉中島知久平氏の飛行機製作に出資すべく今回第一の計畫として七十五萬圓を支出して飛行機製作を援助することとなり

○ル氏令息無事
報道より負傷せずとの説新育より負傷の報道に曰く、前大統領ルーズヴエルト氏は、佛蘭西に在る女婿ダービー軍醫正より『クエンチン、ルーズヴエルトは、空中に飛行したるもの、負傷せずして、着陸せることを確信し居れり』との電報に接せりと

◎大造殿排水工事
昌德宮大造殿の遺跡は過般來排水工事中なりしが僞良の移動に伴り八分方混凝土製排水管の埋設を終りたり殘部は本月初旬迄には完成の見込みなるが完成の上は直ちに基礎工事に取懸るべしと

○學生氣絶
京城朝鮮第二明私立醫學校生徒(十)は二十一日午後三時頃光化門通りの電車が警務總監部前を進行中飛び降りをなし後頭部を強打し一時人事不省に陷りしが京城病院にて應急手當を加へしかば辛くも蘇生し目下加療中

○大豆舟沈沒
京畿道楊州郡富士面水石里木舟に大小豆等を滿載し艀舶二隻を連繋し十一日午後六時半頃江原道春川郡面總斗院里の漢江支流を下り居る內岸角に衝突して二隻共顚覆沈沒せしが二隻の乘組員四名は辛くも泳ぎ上りしが積荷の損害約二千圓船體は百五十圓位なるが翌日多數の里民に依り引揚げしと

◎本日最高溫度
九十六度六分

讀者文藝
(一等には五十錢)(薄謝を呈す)

◎主文の○○○が云ふを呼び(一等)

◇川柳『電報』 岡本烏石
▲電報を打つ程息子惡くなし 龍田元町こまや服部月
▲○いな説明してる甲事 義州 松子
▲呼捨にして電文に暇がかり 京畿 丞尾子
▲電文で金な釣り出す親がかり 利川 白女
▲初産は一報な打つ親の里 清州 一笑子 利川 沂光生

灯

でと勇んだらかたが世間は非常の食料騰貴で軍隊は一日約八分通り給食になり同じ市民の食膳にも上らる價段もおくはない理である[illegible] 師團長曰く『ですから全く吾々の口に入るのはセイぐ鮮魚が賊の山です』▲大町桂月氏が酒客でもとして酒を止したことは有名な話だが今日は井で酒を飲む賂のやうに吞むだ今日此頃の一合も分散物するので五十年さいふ一番を公けにするさうだ五十年で禁酒することゝなり新く酒キッパリ 其他の陸軍大異動で朝鮮の幹部は軍司令官首め全部更つたが將官以上で朝鮮に殘つたのは軍參謀長の市川堅太郎少將一人であるさうだ

演藝案内

京城本町一丁目 壽館 電話一〇五番 浄瑠璃大會 四日目 語り物二十五日(ろは)…

京城本町 大正館 電話八七三 臨時特別大興行 活動寫眞 チャプリン番頭 五千呎…

旭町二丁目 浪花館 電話二六〇番 大阪落語 京阪落語會一座へ更に若手數名加入 …

京城壽町 壽座 電話五七八番 新派劇 …

黄金館 電話二六三七 二三六六 臨時特別興行 …

有樂館 京城黄金町 …

朝鮮名物 金剛飴 京城本町電話四七五番 一二七 龜屋

新田帶革 朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店

新式耐水調革

強胃消化錠 八木田博士御處方 島田博士御鑑査 アナタの胃病にはマーゲン 本劑の特色 マーゲンは獨逸製胃腸病に特効あり 大阪市東區本町五丁目 田畑保藥房

（前號より）…六十九錢…七十錢…平均値段　十三圓六十三錢　十二圓七十錢　十二圓六十九錢　十三圓七十三錢　十二圓六十八錢

◎米買占　木浦の評判

米價暴騰に將來を見越し買惜しみの營業者多きは益々米價に影響を及ぼし米商の甚だ憂ふべからざるものありしが近來鈴木商店の米買占め評判あると同時に出兵問題を豫想し米界の緊張其極に達し數日來正白米二十八圓五十錢より三十圓臺に突飛し中流以下の困難日々に迫り諸物價の高騰其停止する處を知らず若し之を放任せば由々しき事となりと思はれしか木浦商業會議所にては京城仁川の飛電に接し木村會頭の群山行きとなり穀物商組合の協議となり商業會議所役員會となり之れが救濟策を講じ居れりと(木浦)

◎森林借款問題

◇反對運動益々旺ん也◇

森林借款反對運動の爲め過日北京に急行したる吉林省官民代表者は曹外交總長及び田財政總長を訪ひ意見を陳べて之れが取消しを要求したるが兩氏は意見こしては良く商量し置くも最早之れを取消すと云ふことは不可能なりとて體よく拒絕的回答を與へしより代表者等は再び段總理に面會を求め最後の運動を開始すべしとの報吉林に達したる爲め同地にては三十名の運動委員を常置し臨日に會合して運動方針の統一を計る事となり長春よりも之れと步調を一にする爲め協議員を派遣するに決したるが既電の如く長春の反對運動委員に於ても過日の演說大會の電報に對し中央當局より未だ何等の回答にも接せず擱り濱されんとする形勢あるより二十八日附屬地外將茶園にて再び縣民大會を開く事となり…の俗語を以て印刷したる約十萬枚の檄文を保衞團員及び巡警を以て配布なさしむると共に國稅の納付を一時中止すべしとの事なるが吉長兩地の反對運動熱は益々熾烈の度を加ふべき模樣なり(長春)

◎朝鮮の米買占　滿洲に波及す

◇一躍三圓餘の激騰◇

長春小賣白米業者の近況を聞くに今回の如き一二三日の間に於て石に付一躍三圓餘の騰貴を見るに至りしは近年稀なる事なるが其原因は出兵問題と云ふよりは朝鮮に於ける鈴木商店の買占が其の因を爲せるは明かなる事にして此れが爲め朝鮮の輸出業者にも持品手薄となり現に高價なる品物の注文を爲すも本月末か或は來月早々ならざれば到達困難しと云ふ如き有樣にて猶以上の暴騰は免れざるべしも小賣米業者にては未だ前持品有る事なれば從來の得意關係及び德義上今直ちに現相場に引上ぐると云ふ如き事は爲し得ざるより現在の所小賣相場には餘り變動を來し居らざるが需要者にても米價騰貴の報を得ると共に直ちに先を越して一二箇月分乃至餘分に買込む者甚だ多く其れさへ殆んど驚嘆のみなれば販賣業者に於ても勢ひそれに對する幾分の値上げを爲しつゝあるも未だ小賣上の値上は僅少に止まり居らざるが手持品の品薄になると共に相場の變動に因る相當の騰貴は免れ得ざる所なりと云ふ(長春)

◎召集と區域　陸軍在鄉軍人

愈々本年度より新に施行すべき陸軍在鄉軍人勤務演習及び簡閱點呼召集區域左の通り決定したり

步兵聯隊　(召集區域)

(聯隊)	(所在地)	
七三	羅南	咸北道、京畿道の一部
七四	咸興	咸南、江原、京畿一部
七七	平壤	平南北、黃海道各一部
七八	龍山	京畿道の一部

右は居住者分布の狀況及び居住地と召集部隊の距離等を參酌して概定せられたる標準にして本年度居住地に於て應召許可者分布の狀況は八月以後に非ざれば確定せず今後多少の融通あるやも計り難しと

各特科隊

騎兵二十七聯隊野砲兵二十五聯隊(羅南)各道(重砲兵大隊は第二十師管と同)
經理部衛生部(步兵七十八聯隊)
獸醫部(平壤騎兵二十七聯隊第三中隊)
豫備野砲兵第二十五聯隊(第六中隊)龍山(第十九師管内各地、衛生輸卒)管は京城衛戍病院

◎平北と殖銀株

平安北道に於て募集せる朝鮮殖産銀行株應募數は非常の好成績にて本月二十日現在新義州應募人員五十四名七萬百十六株、博川十四名三百八十株、龍川十二名三百六株、昌城一名十五株合計七百名八百株、百四千百十一株に上り之が取扱銀行は殖銀七萬三千五百九十二株、朝銀五百二十株にして別に新…

◎日本内地でも歡迎さる、安東麻布の聲價

◇益々改良を施して◇

…安東縣… 東麻布の産額は…として…品質の優良なる點に於て…ては昨大正六年中の生産高一萬九千…百三十九疋、價額一萬八千四百九十五圓に上り…

◇安東麻布　は内地に於け…如く安東を中心として義城、醴泉、奈良廳と謂ひ近江麻布と稱ふ…州、榮化、豊松等に於て生産せる…ものを總稱して安東麻布と稱し其…の産品は一度安東に集中して…の上太郞を經て鮮内各地は固より東京、大阪、奈良、高知地方に…向けられつゝあり近來は又内地…の註文も續々見つゝある…

◇廣島地方　に於て行はれつゝある方法にして内地品の製織には織糸稍や硬きに失し不適當なるに現に奬勵中の精練法は朝鮮向には最も適當せる上析太縣地方に於て行はれつゝある原料の鑛酸法は多少技術をも要する等の關係上俄に採用することは不可能なるも將來は地麻布組合に於ては現行の精練と…を奬勵の傍ら本年は

◇奈良より　機械一臺を取り寄せ石鹸醱酵法に付き攻究中の由なれば將來は内地品の製織をも見るの期あるべし而して同地麻布組合にては石鹸法に依る原料の麻糸…器十臺を本年更に增設し製織に…の製出を爲し居れる…の優劣は製織原料たる麻纖維の良否に係はる所最も大なるも一面栽培地の適不適に基因する所多し

◇朝鮮古老　の言に據れば一略を隔てたる兩地に於て栽培せし麻に依る製品と雖も日を經るに隨ひ一は漸次黑味を呈するに反し他は依然原色を維持するが如き事ありと斯くの如きは論…

◇最も重大　なる關係ある繊維の最も顯著なる例證なるべきも亦強ち理由なしとする能はず兎に角其の原料麻の栽培適否の繊維製出の良否とは共に製品と

◇◇最も重大　は暖々する迄も無き事といふべし而して慶尙北道管内に於ける之等大麻の作付反別は昨大正六年度に於て千八百四十九町一反步にして收穫高三十五萬六千五百四十貫なるが内義城郡丹村面は

◇◇唯一の水田　栽培地にして夙に安東麻布原料の主產地として知られ最も優秀り原料を産出しつゝあり、安東麻布は漸く聲價の著聞せるにも拘はらず其生產品の比較的鮮少なりしは畢竟在來の石蒸法に依る原料繊維の製出は其方法の不完全にして缺點多きのみならず新浸漬、人夫賃等の如きも比較的多額の經費を要し加ふるに位置亦慶北の

◇◇中央に位　し交通不便の嫌ありし等の關係上自然其生產額にも影響せしもの…現行の改良精蒸法

は在來法に比し缺點少く且つ經費を大に節減して比平的短時間に容易に繊維の製作を爲し得るを以て改良法奬勵後未だ幾何ならざるにも拘らず年々其

◇◇產額增加　しつゝある現況なれば該改良法一般に普及の曉は一層安東麻布の聲價と產額とを增大ならしむべく可地麻布組合に於ても一面本年より郡内五箇所に適當の箇所を選定して組合員…

◇◇婦女子　を集め技術者を…して改良製織法の講習を爲しつゝあり、此くの如く安東麻布は將來益々有望なるが上目下問題となり居れる

◇◇邱安線　輕鐵にして近き將來に於て其敷設を見るに至らば今後一層の活躍發展を見るに至るべきは勿論内地間の經濟上にも不砂影響を及ぼすに至るべし

因に右原料たる大麻は目下改良法の普及に伴ひ慶北麻布組合にて指導に勉めつゝあるが以て繊維株法の試驗所長…地麻布組合にて…(大邱)

戰塵

セ軍の苦戰と

邦人義兵將士の死傷

セミヨノフ軍は日本義勇兵の來著と軍器彈藥の充實とにより士氣頓に旺盛となり一大攻勢を開始すべく計劃中の處其後漸次進出して遂に既報排隊戰に於てセ軍の全部はダウリヤの敵に猛襲し激戰の後之を占領するを得たるが敗退したる敵は機を見て大逆襲をなし來りセ軍亦奮戰したるも非常なる苦戰に陷り多數の死傷者を生じ我義勇兵にも數名の重輕傷者と一名の戰死者を出し遂に一時退却の止むなきに至りしものなるが戰死者土用後市は後備步兵中尉にて大連より應募したる者(前號參照)にて戰中中腹部に貫通銃創を受け直ちに後方に移送し應急手當を加へしも効無く約一時間の後遂に絕命するに至りしが戰友及び軍幹部よりも多數將校會葬し日本義勇兵第二の戰死者として懇に追弔を營みたりと(長春)

◎突然拘引せられたる　造船所主と巡査部長以下

第二の火の手は那邊に及ぶや不知

晴天の霹靂

新義州北下洞中村造船所主中村柳吉が去月二十四日安東縣よりの歸途午前十一時頃鐵橋を渡り切るや新義州署坂下刑事の手に依つて突如拘引され引續き同日中村の妻の弟なる新義州鴨川町一番地中村方原田源作(三二)も引致さる、身となり新義州一般居住民は驚異の眼を見張り如何なる事件の勃發せしやと噂は噂を生み出した、併し乍ら事件の益々進むに隨ひ事は一切秘密に附せられたのである

巡査部長も巡査も巡査補も拘引

此の事件は中村造船所主の拘引に端を開き更に擴大して翌二十五日には龍岩浦警察署水上勤務の警備船乘組巡査部長芝原市平及び同乘組巡査大谷國太郎の兩名に依つて拘引され尚續いて二十六日同船乘組員巡査張允傑も又令狀を執行され更に二十九日には同法院支廳志水上席檢事、眞野新義州警察署長と坂下刑事を隨へて急遽龍岩浦に出張し約五日間を要し大活動を開始し一先づ引揚げたるが本事件は比較的單純にして其後著々進行し遂に本月二十二日午前九時三十分より同法院支廳公判廷に於て井浦裁判長及び陪席神保山内兩判事、眞野上席檢事代理其他書記通譯生等著席の上公判開廷されたるが之等開廷の模樣は次號に讓り左に本件の眞相を揭げ置かん

抑も何の犯罪

本事件の眞相として探聞する處に依ると今春四月の初旬前記柳吉方同居原田源作は龍岩浦の材木商主學文と一攫千金的の儲け仕事を協議せし結果支那人の密漁船を新居…沖の日本領海まで踏入らせ石首魚

漁業を行はしめ密漁船一隻に付若干宛の密漁料を徵收せば忽ち成金…間に入るべしとて其日即時水上勤務の大谷巡査を訪れ公海に於て支那人と漁業を爲さしむべければと辯說巧に依賴した、此時居合せたる芝原部長は領海に於てするのでなく公海に於ての漁業は勝手だから宜からうとの言を聞き原田等は時機逸すべからずとて早速漁業者を募集せんと千學文を引率し原田は旅順大連芝罘青島等へ赴くべく百五十本の三色旗(公認の印)を製造し持參した

一本百二十圓の小旗が百五十本

原田と千の兩名の計畫は該旗一本を日貨百二十圓に賣却し百五十本即ち一萬八千圓を儲け様とする豫定であつたが其の當時より新義州に於ては誰となく噂して中村、原田の兩人が漁業に關し何事をか企み居ることを早くも之を耳にせし坂下刑事は其後中村等の行動に就て注視を怠らなかつた去る程に密漁船募集の爲出張せし兩名は旅順に於て密漁者の元締たる夏瀛山と云ふ支那人と豫め約束せし事も原田と夏とは一面識もなきため夏は不安を抱き中村柳吉なれば契約すべしとの事に兩名は餘儀なく義州に舞戾り原田は中村に事情を明かし然して中村と夏瀛山の間に契約を結ばせ契約書を作成し原田は夏の手より千圓の手付金を受領し知らぬ顏を極め込みゐる內五月に入り石首魚の盛漁期になり密漁船は十七隻集まり遂に一隻百二十圓の計算にて夏瀛山より八千八百八十圓を銀行爲替にて送金し來つたのを受領した、一面坂下刑事は愈々活動の幕を開いた、

愈々贈賄の一幕

巡査部長に二千何百圓　巡查に千何百圓と巡査補へも

原田は八千八百八十圓を握り其儘安東縣に至り四番通り鳥源と云ふ料理店に芝原巡査部長、大谷及び張兩巡查を無理强に引つ張り込み芝原巡査部長に二千二百五十圓、大谷に千二百五十圓、張巡查に二百圓を無理に押し付中村、千學文の三名は二千二百圓を其他殘金千五百圓餘は旅代旅費等に計算して着引いたのである一面新義州署に於ては大活動と共に確なる證據を握り前記の如く一同を引致の非上警部主任となり徹宵取調の上一同を檢事局へ送つた次第である

意外の所へ飛火

本事件は前記の如く旅順に於て夏瀛山が中村なら約束するとの言より察すれば中村對夏瀛山の間に於ける密漁契約は昨今に始まりしものにあらざるもの、如く從つて事件の進捗と共に更に火の手を揚げんとしつゝある模樣にて既に某官廳在勤の某書記の如きは處決すべく辭表を提出中なりとの噂さへあれば尙本件の意外の邊に火の手の及ぶことであらう(平壤)

◎富豪の人質料　一百萬圓

今孔明の謀略で

父子ともに山塞へ拉ばる

支那山東省即墨縣を距る約九十支里の地點にある金家口港の一角に東鄉周疃と云ふ處がある此處には山東省唯一の金滿家がある富の程度は量り難しとまで稱されてゐる其の主人は李炳和と云ふ者で

◇自家警備の爲めに◇

◇七百餘名の壯丁を◇

養ひ一見城郭の如き堂々たる構へをなしてゐる、日頃馬賊七匪の一隊は目星を附けて狙うてゐるものゝ嚴重なる警戒には浮か浮か手出しする事が出來ない爲に已むなく同類を糾合して五百餘名の土匪軍を組織して同富豪を襲ふ事となり彼等方三々伍々根據地たる山中に集合した五百名は隊伍を整へて出發した高粱の繁茂は六尺に及びて彼等の爲にはモッケの僥倖であつた、本富豪の警備に七百の手兵がある上に獨逸時代に金を切つて敵戰なしたが富豪には七百の手兵がある上に獨逸時代に購入した

◇大砲までもあつて◇

土匪の頭上に遠慮なく四散彈が落下する、透那遂に血煙を上げて戰死者を續出した斯くして九時間に亘り遂く鷄鳴を耳にするに至つたか何等好果を來さなかつたのであ る這ふ這ふの體で遂に敗戰退却するに至つたが賊は小頭目と議を開き切齒して此遺り損じを殘念に思ふ如何なる方法にてか富豪を姦すべしと鳴熟議の結果一隊の內

此の瞬間である學校から歸宅した愛兒が親を追うて來たので此れ亦親と共に捕へられ山塞にと運ばれた、彼等土匪は思ふ我爺に目的物が入りたる爲欣躍りして其夜は大祝宴を開催し遂に富豪の

◇留守宅に百萬圓を◇

要求するに至つた、恰も三國志にありさうな話であるが實際の出來事で土匪であつた、葬送の一隊は土匪であった、恰も三國志にありさうな話であるが實際の出來事である富豪父子の生命は目下風前の燈火である、聞きたきは富豪が斯うて居る七百名の壯丁の行動であるる彼等が土匪と結託したとすれば憐れ富豪は權花一朝の露と消えねばならぬのである(天津)

◇今孔明と稱せらる◇

る參謀役の妙案を實行することゝなつた此の騷動の開始されたのが翌々日の午後三時頃であつた哀樂涙に咽びつゝ悲哀なる音樂を奏し頭に一隊百餘名の葬列が富豪李の先祖代々の墓地に着した其一行から李富豪には斯の如く傳へられた『貴大老爺の緣者で永く滿洲奉天に住んでゐた李福金と云ふ人の屍骸を埋る爲に來た福金が死ぬ際に懇々と先祖の墳と共に埋めて呉れと依賴されたのである貴老爺も是非命葬して下さい佛の爲に功德になる』と申込んだ富豪李は福金なる者を知らぬと返事したが土匪は

◇兎に角死人の顏を◇

一見すれば判然する事である貴老爺が知らぬ人を貴家の墓地に埋葬する事も出來ないと尤もらしく誘る言葉に動かされて五六名の兵に護られ現場に向ふた墓場には老若男女の參列者がある一向見た事のない人達ではあるが鼻水垂して泣哭してゐる主人は主祭者に導かれ棺側に至り蓋を開かんとする

共刹那であつた

五六名の爲め手取り足取りに縛せられ從者は一人も餘さず殺され

農信

土用までの樂觀

本年の雨明は昨年より約半箇月早く大田地方にては七月初旬より晴天至つて尠く大小の降雨あり殊に本月八日十日の如きは多量の降雨ありたる爲め往々水害を被りたる所ありしも如何なる高臺山地と雖も灌漑水の缺乏を見る事なく早足の植付を見たる爲め一般農家は本年は必ず豐作なるべしとの見込みを付け居れり土用入の天候は從來の雨晴れ半晴半曇にて氣溫も昇騰したり早きは一番除草を終り込み早きは一番除草の最中なるが何分照り込み對き爲め未だ普田稈めと云ふに至らざるも今後の天候恢復せば丈延分蘗等中分なき成育を見るべし(大田)

月やく

月やくとまり不順のため食やく胸につかへ時々嘔吐なし頭痛逆上のぼせ下腹痛み

…てもやか…

他の藥に迷はず私方へ返信料を添へて申込あれば害なくおりる妙藥をお知らせす

東京四谷信濃町停留場前　大北區西梅ヶ枝停留場前　森田屋

わきが

特効藥ファーザーを御用ひあれば是と他の藥にて今迄皮きかなかつた方は

藥價六十錢一圓　京城黃金町三丁目　電話二九四九番　山田文殊堂藥房

目ニ見ヘテ ズンズントキク シマズ イタマヌ

井上博士 ロート目藥

目を拭くため消毒した布と新案の點眼器を添へてある◎全國各藥店にあり

定價小瓶十五錢、中瓶廿錢、大瓶五拾錢

本舖　東京…大阪…山田安民藥房

陸軍拂下　佐藤古着店

並官衙諸拂下一切

品毛布毛布袴褌下靴下手袋被服一切

京城府漢江通三　電話龍山三三六番

昔も今も

きゝめ效能で賣れる

逆上を引下げ通じをよくし諸毒を下す

大阪高麗橋…　伊藤長兵衛

壽香紙

一度御試用下さいまし

…金和紙の彩色卷時…

東京芝三光町　秋春庵

賛化病院

京城明治町一丁目

電話二四〇番

内科　小兒科

入院隨意

無料施療す　毎日五名を限り

醫學博士　古城憲治

主効

▽消化不良
▽食もたれ
▽溜飲吐瀉
▽飲過食過
▽胃腸カタル
▽悪酔宿醉
▽悪心胸痞

定價　廿錢　五十錢　一圓

東京　星製藥株式會社

ホシ胃腸藥

健胃劑

桃谷研究試驗所創製

學理の精粋を發揮したる

美しくなる液

美顏ユーマーの作用こそは近頃珍しい現象として世の婦人男子方の間に噂の種となつて居ります。

唯一回の使用

その時だけでも、顏色の美と皮膚の感じに於て、既にこの新しい「美しくなる液」の作用の程が明かに窺はれます。

二回三回四回

使用者は最早鏡の內に、新しき美しさに向ひつゝある自分の容貌を見出さずには居られません。

これなら萬人が求めて止まぬ眞の美容の目的が充分に達し得られる……

斯う桃谷研究試驗所技師たる諸學者が認め、確固たる自信を以て、其研究を發表したる創製品『美しくなる液』それが此美顏ユーマーであります

美顏ユーマーの作用と成分

美しくなる液

◇顏色の艶麗

これは桃谷研究試驗所に於て、此美しくなる液の創製を目論んだ時、先づ研究して新しく發見した粘液美容素の作用であります。此粘液素は、顏色を艶麗にすると共に、皮膚を柔かに滑かにして毛孔を開きます。

◇白色と美容

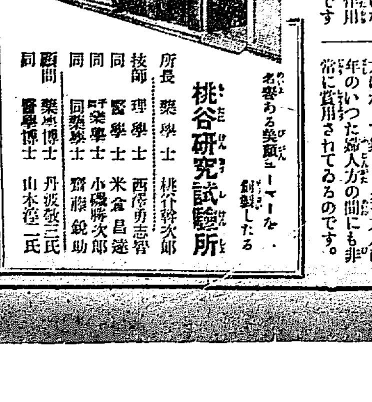
斯うして毛孔の開いた所へ、これも桃谷研究試驗所の發見に成る新しい白色美容素が其開いた毛孔から浸込んで行きますから液は一滴もムダになくらず、其强い白色美容の作用を充分に現す事になるのです

◇日燒を防ぐ成分

その開いた毛孔から浸込んで働く成分の中には、白色美容素の外にも種々の成分(例へば皮膚の新陳代謝を活潑にして美容を促す成分の如き)が在りますが殊に御注意を乞ひ度きは、日燒を防ぐ成分であります。此美容素の作用があるので、美顏ユーマーを常用すると日に燒けないといふ事が皆樣に言はれてゐるのであります。

◇皺と荒と顏色

前に述べた粘液美容素にはまた皺を防ぐ作用が備はつてゐます其譯は此美容素は皮膚を軟かに而て滑かにする作用が優れてゐるからです。それから外出前などに一寸附けた丈けで顏色を鮮やかに活々させる事顏劑の後に用ひて剃刀カブレを防ぐ事等も特質の一つであります。斯ういふ學理上、實際上完全な美容液ですから、美顏ユーマーは若き婦人方ばかりで無く、男子方及び年のいつた婦人方の間にも非常に賞用されてゐるのです。



名譽ある美顏ユーマーを創製したる

桃谷研究試驗所

所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
同　醫學士　米倉昌達
同　藥學士　小磯勝次郎
同　同藥學士　齋藤鋭助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　醫學博士　山本莲一氏

商況

東京期米特電

二十五日前場 當限一節 三十錢 中限 二十九圓七十五 先限 二十七圓八十錢

大阪株式特電

宇治川水、阪神電鐵、東洋紡績、合同紡績、鐘淵紡績、同上新株、東神製糖、大阪商船、日本郵船、同上新株、堂島米穀、東京株式、大阪株式

大阪三品特電

二十四日後場 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 三五八、九五

大阪期米特電

節中勘合成立値段 當限 中限 二八、五〇 二四、八五

下關期米特電

二十四日後場 當限 中限 先限

雜報

三品反撥す

三品は昨二十三日は休日の後を承けて先物六十錢方高く寄付きたるが昨二十四日の商場は上りたるが後場は逆行して五十一圓十錢方の安値を見せ軟派の反抗に接し一時大勢の轉換を思はしめしも同日後場に入電は

反撥五十八圓

九十五錢と再び六十圓近くに跳返せり從つて三銘先物十錢、高一圓八十錢と報ぜられたる眼先棉及び仕向地の關係より如何なる相場を知れざるも當分は強含なり

正米氣直る

正米の商狀は天井として以來市況一時四十錢方の低落を告げしが正米も昨今の如く釜山高に次で地方又は値を出し殊に釜山方面より

合格品注文

入込み來れるあり一面買人氣も稍々見直し來たりて昨今朝は日本種玄米二十六圓二十錢在來種二十五圓七十錢次品二十五圓

約十錢方引返せり

外米弗々商談

昨今釜山市場より弗々外米の商談も進め來れるが開港以來同地に到着せし管理米には値は至極廉なし之に運賃掛り費及び取扱の口錢等を加ふれば當地仲間渡り一石二十二圓乃至六十錢位に當り

小賣値では一升二十三錢乃至二十三錢五厘見當

に發賣せらるべく日本人向白米に比し在來種は十錢近かく鮮人向白米よりも六七錢方割安にて殊に正米は再び上向の氣勢ある際とて外米需要を喚起すべしとて當業者中試み的に

白も低落

は最近邪々中白の刺落も見るに至りしより僅分在荷増したる譯にて自然買人の關買もく物によりては以前よりも一圓五十錢方下にて取引されてゐり

三十錢より四五十錢安

の見當に出しつゝあり、倘ほ張り氣配なるも見透しは困難なり

皮革類弱持合

革類は外國需要減少と反して一時米國の持品多きも引立たず狀態なれど最近の狀況は現下の趨勢を以てすれば急速に進捗を見るべく其後追々輸出禁止の範圍は本部一部の品に限られたるまでなれば又出廻り次第動く

下關稻場

朝鮮米は底堅く過日來弊勝きにて意外の高値に進みたるより或は此邊行過ぎにあらずやとの懸念を以て其後別に買進む相人現はれず、雜も米況の硬化と共に各米主の賣り腰強きによる

▲豆は手堅く本品は其後別に市況高しと云ふ程にもあらざるも頑強の廻りは依然として産地相場も筋の稍々騰りにて各手筋の氣配は十七八錢より六七十錢を見當にて四百叺ばかり成立し入港したり

▲小豆は強保合 其後出廻り途切れたるのみならず産地も依然から早くして不引合なる折柄米價筋の氣張り居る爲め人氣いやが上に高くなりたる模様なり
▲金時大豆(現日) 十七 十七 十七錢
▲元山大豆 十八圓五十錢

支那粟漸落

支那粟は正米市況の軟弱と共に一頃の暴騰も稍々鎭まり昨今地場の出廻りも多く消化せらるゝのみにて持高に悩み居れる有樣なり

賣物現はれ元山方面より

配ヂリ々下押し

見當相場は海上十二圓七十錢處にて手合せ十二圓十錢と同二十錢に下れり

碎米は鈍狀

碎米は最近の仲間需要も乏しく相當上物の買望みは依然として相當に買入れ

殊に三等品は

品薄の爲め需要減り仲間は狀態にて市况も一般に目立ちて

退嬰氣味

品は別に騰りて一等二等三等の相場は十四圓五十錢、一等十三圓二十錢、二等十三圓、三等十一圓九十錢處にて上物は比較的品薄と見らる

市中卸値

三十一圓七十錢、三十二圓に唱へられつゝあり

白米弱持合ひ

白米は引續き前約注文に追はれ精米所は各自多忙なるも價格の方は依然堅調なるも先安見越の氣配は持合の姿なり

小麥は好調

小麥は相當買人あるも新物の出廻り少なく氣配は黃海道物十六圓五十錢見當にて一時人氣は强含みに見らる

河上物は

十五圓五十錢處にて多少の取引あり

苑の入荷は近く幾分は至るべし

各地商況

▲大邱米況(二十四日) 出廻り漸次減少に傾き合格米は依然として出兵の爲め底値強く京城方面へも積出されたり

▲新米(二十三日) 商況は依然として一般に堅調を持續しつゝあり

▲群山正米(二十三日) 相場は依然として堅調を呈し買氣旺盛なり

▲木浦米況(二十三日) 内地相場と相場の合はざる爲め移出は減少し

▲玄米持合 朝鮮米は一時頃の騰勢を示したるも依然として

▲籾の入荷少なし

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長距離二一番

南大門廻穀

沙里院麥、鳥致院麥、黃州小麥、元山大豆、松汀里胡麻、水原白米、忠州大豆、許由白米、義州大豆

仁川正米

▲正米は期米の變動に伴ひ稍々保合にて商況も依然

生魚市場

▲京城日の丸市場 本日は元山鱈、鯛等の入荷ありたるも不足勝にて相場も強含みなり

仁川穀米

二十五日前場(反高)

▲第一節 昨後場引後の期米は二十八圓九十五錢より七圓十五錢止め入電 二十六圓五十錢

大阪當限

齋藤榮之助

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長距離

釜山水產市場(二十四日)

▲本日高 一千二百二十四圓七十錢 ▲百十五錢 あじ ひらめ 鯛 かます さば いか 黑鯛 鰤 等

仁川米況

仁川米況(二十四日) 二十六圓五十錢

中限二十四圓八十錢

十五錢にて解合入電

錢高に寄付き三十四錢と瓦落

▲第一節 寄付後の動き

高入電にて昨止り六錢

五十五錢上伸買物多

二十六圓五十錢

仁米反撥す

大阪の當中解合

東京の存外强

硬さに放れ更に六錢

跳れたるを以て反動高

市場雜觀

▲昨後場は東京其後の入電なく當地當中停止先二十三圓二十五錢安に寄付きたるが相場は新規買物多く九錢方上伸し押したるも戻りは又買物多く一錢方引返し歩調となり二節三十五錢まで騰り期は依然氣配良好にて三節更に五錢高

▲天候晴天昨午後東京の發表によると大阪當中解合成立の通りなると仲買筋の相場は一般に好況を呈し二十六圓五十錢にて入電ありたる時に上り殘り六錢方引返し

外聽

東京の昨止存

出より形勢忽ち一變し買物續

仁川豆取引所

廿五日の九月限

盛極て賣氣旺

込み十分なく更に照

土用入り後の

變動、場面一變

廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長距離七六五番

北濱たより

八氣良化す

▲八氣良化す 關係者の商況は其後の趨勢より見て反つて利喰の賣物も多く之れに相場の仲力を殺がれたる次第なるも一般仲買人は頗る買氣旺盛にて

仲買店

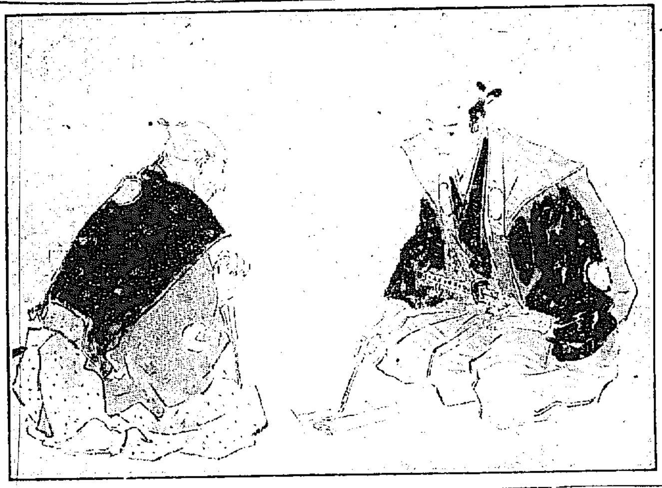
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長距離九〇五番 四四番

小規模出兵の決定を傳ふるのみか既に出兵の決定を押したる丈けで直ちに跳ね返したといふのは何處までも材料以上の安値であるが爲めにて下値の餘地の乏しい事を相場の上に立證したものであるといふ點で下値の餘地に乏しき感じを强くした

塚原卜傳

第百四十七席 悟道軒圓玉口演

磯端伴藏秀國は右の書面を證據として勝へ、まづ常陸なる佐竹右京太夫義宣の許に赴き、老臣梅津内記に就いて面會いたしまする、梅津内記も最上家の使者と聞いて疎末には出來ぬから丁重に待遇して、さて來意は？と聞くと伊『外ではござらぬ此度御當家御一族佐竹彈正殿松島舘の途次塚原小大郎の爲に討れ其節は附添ひ居たる伊達兵庫の同勢も多く死傷あり此捨置難しとて御當家にも伊達兵庫より申通じ兩家評定の上最上家へ對して嚴重の掛合致し最上家にても一旦武士道の意地として右塚原を領内に差置きし以上今更捨てらせぬ存意でござる』と辯舌爽かに述べ立てた、梅津内記承はつて大に驚き、内『イヤ初めて承はる彈正の惡事、固より拙者は彈正を信じては居らんが斯まで根深く企てし事ありとは思ひも寄らず、貴殿の手より此密書を授けられずば、何を以て之れを知るべき、兎に角小太郎事は父土佐守以來佐竹家の功臣にして格別の寄々を通じ平賀志摩守と通じ密書を認めんため一謀を企てたりと密書を證據に示し兎角の疑惑もなさざる中笠間の松原にて土佐守を討取りしより彈正の威勢旭の如く、拙者は



しこあつて、已に弓矢の用意をなし御兩家を對手に有無の一戰をと遂げんといふ事なるが斯合ひと相成りしに依つて塚原小大郎が心痛一方ならず、三家の確執を無事に濟まするやう百方苦心の末圖らず見出したる此密書、文字は御覽下されば明白でござるが斯々如く此文面に依れば佐竹彈正は如何に當家を親ふ逆臣、小大郎が之を討ち取りしは父兄の恨みを晴らせしに止らず主家を萬代の易きに置いたる大功臣は御存じなく、只彈正を討取つたるは憎むべき所業と御立腹の餘り最上家へ對して兵馬の沙汰に及ばんとするは近頃御輕忽の至り、之れ謀るは臣の勸め御家第一の重臣たる梅津氏なれば拙者が申すまでもなき事彈正の惡事太守へ言上あつて小大郎の御勘氣御免の上元々通り歸參の御沙汰に計らひを願ひたく、されば伊達家へは拙者罷り向つて兵庫の陰謀を告げ知らせ

老年こいひ病身のためあつて無きも同然、太守御幼年を幸ひに老臣の勢を以て諸事自由なる舉動、若し存じ居つたる處でござる、家よりの御使に依つて太守も給ひ一旦は最上家へ對し弓矢を執るに致したれど弓矢を持つて爭うては我々老臣更に望む所にあらず、太守へ此儀言上いたし、塚原小太郎歸參の儀を許し老臣一同評議の上、改めて御返事申上げるでござらう』と此梅津内記こいふ人は至極穩な人で、間から彈正を憎んで居りましたから至極の返答、伴藏も案じるより生むが易く喜んで『何分宜しく』と答へて待つて居る、梅津内記は直に太守の御前へ出て事の趣きを言上に及び倘老臣一同を集めて評議をすると一同『斯る證據ある上は彈正は家の惡人之を討

ちし小太郎は大功の武士歸參は一同望む所、最上家へは和解の返答をいたした方が宜いと一同の評議、太守はまだ十六歲であるから別に異議も仰せられず茲で右の返答を内記から伴藏に告げましたから伴藏大いに喜び、暇乞ひをして佐竹の許を出で、其より米澤へ乘込み、つて伊達政宗の臣伊達兵部少輔、片倉小十郎兩人に就いて説いて右の書面を出して之が亦大いに驚き證據の讒を告げ其陰謀を示せる、兵庫陰謀の讒を告げ、是へ兵庫陰謀の讒を告げ、是見せる、次第明白であります から最上家へ和睦の議を申込み、伊達家の遊に逢ひ、三家の確執を圓滿に解決して山形へ立ち歸りしたのは此への大功であります。

京吳服

永樂町二丁目 京都たまや出張店 電話二九六

篤志家二人

京畿道觀察… 管下官郡内に於ては從來年毎に破壞し毎年之が修繕を行ひ居りしが當局の一般の困難し居たる處同郡篤志家二人の木橋は其の後四回私財を投じて百余圓を投じ石材を以て架橋し其他の數ヶ所に比し其の木橋の往々破損し居れり斯く然り本橋は市場の中央に當り通多大の便宜を得たる事とて一般府内官廳及民間人は非常に同氏を賞し居れり、府から困卽し居たるが本はし私財を投じ約六百余圓の請負にて良道面の坪申居住の内地人石上に…が監督を爲さしめ不日竣工す、著手する筈にて誠に美擧と云ふべし(江華)

江華島に高普

江華島郡日鮮有志は積年の宿望として江華島に高等普通學校設立を志ありしが今回愈々其運動高潮に達し江華米國宣教會主任牧師を經て金六萬圓を米國本部へ寄附を運動中の由にて之が決行の曉には宏大なる建築を爲し江華島頭に普及を計る由(江華島)

本日の運勢

七月廿七日 九紫 舊六月二十日乙亥 本命一白北納先 …

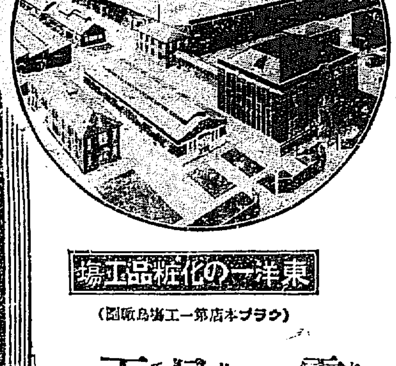
▲一白 あと戻りする事有り注意す ▲二黑 … ▲三碧 … ▲四綠 … ▲五黃 東に用心せらるべし ▲六白 … ▲七赤 … ▲八白 … ▲九紫 物事は吉

牛乳

京城東四軒町 朝鮮病院 御用 岡野牧場 電話一〇六九番

東 洋 一

クラブ齒磨本店及工場新築落成記念



(クラブ本店第一工場鳥瞰圖)

靈嶽の頂に立って東海の旭日を拜す眞に天下の壯快事

登山記念品進呈

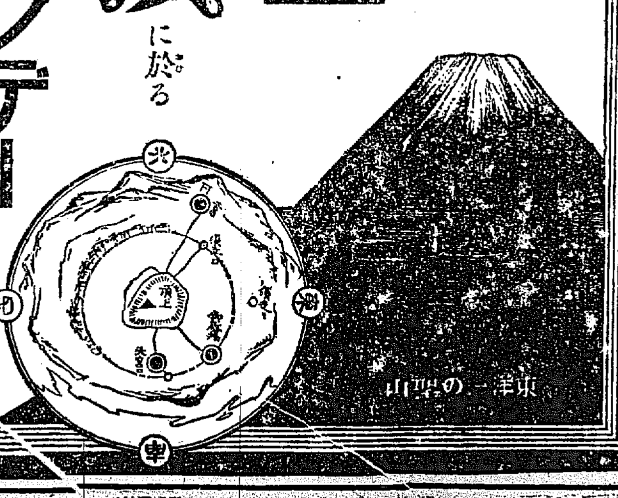
一等 金側懷中時計 壹箇 (壹名)
二等 美術置時計 壹箇宛 (參名)
三等 極上水筒 壹箇宛 (五名)
四等 流行浴衣地 壹反宛 (拾名)
外に クラブ齒磨 一箇ヽ宛 富士登山記念繪端書 壹組 壹百名
五等 クラブ齒磨 壹箇 登山記念繪端書壹組宛 壹千五百名
六等 富士登山記念繪端書壹組宛 殘全部
等外

東洋一の化粧品工場たるクラブ齒磨クラブ白粉クラブ洗粉第一工場並に中山太陽堂總本店の新築落成を記念せんが爲め東洋一の聖山たる富士の絶頂に破天荒のクラブデーを開催し八月一日より三日迄の三日間御殿場口、吉田口及び大宮口より御登山の方五千名迄に各登山口のクラブ本店臨時出張所に於て富士登山記念抽籤券を一枚宛差上げますから夫を頂上の淺間神社前クラブ本店臨時出張所へ御示し下されば引換に左記の記念品を進呈致します(抽籤券御所持の方で風雨其他の事故の爲め三日迄に頂上へ御到着叶はざりし方には特に五日正午迄は頂上のクラブ本店臨時出張所で記念品こ御引換致します)

八月一日二日三日の三日間

富士山頂に於るクラブデー

三日間に御登山の方五千名で合計數百圓の記念品贈呈



京城日報

第五版

▲北部臺灣海峽に……せる地方の沿海を警戒しつゝあり……年の季節中も臺灣方面には……も一昨年は頗る猛烈に……一名は海中に墜ちたり斯くて彼等……は悠々掠奪を行ひ去りしが海中に

▲警戒方法に就て　……にては季節前にて……きものなり元來彼等の……は福州より少しく西南に當れる……島に……當時は……島も其の根據地たりしが如く其島名に就て見るに因縁なしこせず而して八幡船の船夫等に……

▲此方面の島嶼は　……賊の根據地こなり平常は漁業等に……のありその武器は少數の銃器こ多くは刀劍槍口の類なり(門司)

新攻勢の推移

▲攻撃配備　新攻勢實行に於る獨軍の兵力配備を觀るにランス以東メイゾン、ド、シャンパニュ間に使用せる兵力が比較的少きに徴すれば正面目に此方面より戰線を突破して攻撃前進せんこする企圖なかりしが如く爲めに……面せる聯合軍の阻止する所こなり攻撃第一日第二日共に戰線に微動をも與ふる能はず然もランス以西シャトーチエリーに至る戰線にはランス以東の攻撃部隊に比し一層濃密なる兵力を第一線に使用せる模樣にして此方面の攻撃は稍や活氣を呈せり即ち獨軍は攻撃第一日(十五日)に於てシャトーチエリーに接近せる三四の地點に於てマルヌ河の敵前渡河を敢行し敵砲兵の射撃及び飛行機の爆彈投下を浴びながら同マルヌ左岸に進出しシエヂーを初め其他二三マルヌ南岸の地區を占領せり然れごも此方面も亦聯合軍の準備に怠りなかりし地區なりしを以て一時マルヌ左岸に進出し得たる獨軍も再び撃退せられ攻戰第二日には僅くにしてシエヂーを保持しつゝあるに過ぎず其後の攻撃はランス以東こ殆ご選ぶ所なく略聯合軍の阻止する所こなれるが如し

▲是常套策　新攻撃方面に多大の兵力を集中せず僅に四十箇師團以下の兵力を以て百二十基米突(三十里)の攻撃正面に展開せるより見れば獨軍今次の攻撃も敵の常套手段たる一種の陽攻撃なりこ見るべきか獨軍が最初猛烈なる攻撃を企圖するが如く堂々こ緒戰を試み其半ばにして他の方面より主攻撃を敢行するは正面攻撃を行ふに當り聯合軍の總豫備隊を將來必要こする方面より遠ざくるの策こして頗る有效なる方略たるに相違なきも是れ敵が既に幾度か繰返して聯合軍側に知れ渡れる策なるを以て今回聯合軍が獨軍攻撃の僞に致さるゝが如き事なきは勿論にして獨軍にして若今後他の戰闘正面に主攻撃を企圖し其實行の移るこするも牽制の效果は恐らく望難ならん

▲主攻方面　現在の交戰正面約三十里の間に獨軍が全力を擧て攻撃せんこする所謂主攻撃方面の存するものこせば攻勢既に其鋭氣を喪失し前進緩慢にして一進一退を繰返すが如き戰況に陷れるは攻撃失敗の第一歩こ謂ふべし獨軍の屢々試むるが如き大兵を集中して强襲を敢行する戰法にありては攻撃第一日第二日第三日前後に於て著しく攻撃を進捗せしめ從初の第一撃に於て防禦軍に大打撃を與ふるに非ずんば到底攻撃は奏効せず然れごも新攻撃の阻止せられたるは獨軍が此方面に大兵團を集中し斷乎たる決心を以て攻勢に移れるに非ざるが爲めなりこ觀測すべく果して然らば主攻撃方面は何れの地區に豫定せられたるべきか要するに獨軍の志は依然アミアン方面に存しシャトーチエリーより北折せる戰線中ランス以南コンピエーヌ附近に至る間に在るが如く恐らく獨軍豫定の本攻撃は遠からずして此の方面に對し實現せらるべきか

▲英佛逆撃　以上は十五、六兩日の戰况推移に照して判斷せる所なるも攻撃第三日に於ける聯合側よりの報道に據れば英佛軍はマルヌ河よりエーヌ河に亘る約十二里の戰線より逆襲に轉じ南は獨逸新攻戰線の右側に迫るこ共に北はソアソン近くまで前進し舊戰線を進むること約四哩に及べりこ云ふ英佛軍の逆襲が眞面目に行はれたるものなりとせば此の方面よりする聯合軍の進出は二重の意義を有せり一は即ちシャトーチエリー附近に於ける獨軍がマルヌ渡河に急なる爲め右側背を暴露して極端に突進し戰術上の危險を無視せる缺陷に乘ぜる事にして他は從來聯合軍が專ら防禦の態度に在りて逆襲に轉ずる餘裕なかりし聯合軍が漸く戰備の充實を得敵の缺陷に乘じて反撃を試み決戰を敢行せんこする決心の窺知せらるゝ事是れなり故に此の方面の反撃奏効し獨軍を擊破して前進し得るに至らばマルヌ河戰を試みつゝある獨軍は右側背を脅威せられ爲めに其攻撃的氣勢は自から鈍らざるを得ず今後の戰局の如く推移し來らば是れ聯合軍の乘ずべき絕好機會にしてシャトーチエリー、ランス間の聯合軍も亦逆襲に轉じマルヌ、エーヌ間の友軍こ相呼應して大逆襲に移らば獨軍の新攻撃を失敗に終らしむるのみならず久し振の戰勝を博するを得べく又アミアン方面に豫想せらるゝ敵の主攻撃に對しても其機先を制し敵をして新に術を施すの遑なからしむるを得べし然れごも是エーヌマルヌ間に於ける英佛軍の反撃相當に進捗したる場合にのみ實現せらるゝ戰况にして若し不幸にして英佛軍の反撃が半途にして敵の阻止する所こならば獨り聯合軍にのみ有利に戰局の展開を期待し難かるべし(東京)

朝鮮貿易趨勢(九)

矢鍋關稅課長講演

面して右免稅の特典を享けたる物品の輸移入狀況は(一)漁業用品に於て大正元年十九萬餘圓の輸移入に過ぎざりしもの大正六年に至りては三十萬餘圓を算し(二)鑛業用品は同年の七十七萬餘圓より六年に於て五百三萬餘圓に增進し(三)農林業の植物及び種子等は元年の十三萬餘圓より六年に至り二十八萬餘圓を算し(四)輸出貨物容器は元年の皆無より六年に於て二萬餘圓を計上するに至れり

(四)製鐵事業保護に關する制度　本制度は本年三月改正せられたるものにして其要點は(一)鐵の堀採の事業に必要なる器具機械化學藥類(二)鐵鋼鐵等の製造者が一の所に於て一年三萬五千噸以上の製鐵能力若くは製鋼能力を有する設備又は一の場合に於て同上の能力を增加する設備を爲す爲必要なる器具、機械其他の材料(三)前項の設備を爲す者朝鮮總督府の指定したる副生物製造に必要なる器具機械其他の材料(四)前二項の設備を以て製鐵事業を營む者製鐵若くは副生物製造に必要なる『コークス』化學藥品類又は原料に使用する故鐵若くは屑鐵等の免稅なり(同時に從來從價五分稅を課せられたるものは現在に於ては兼二浦三菱製鐵所にして其效果に關しては最近の計畫に屬し未だ實蹟を說明するを得ざるも該製鐵所が本年五月より生產し得べき生產豫定額は年額銑鐵十萬噸骸炭十二萬噸硫酸二千噸硫酸アンモニア一千八百噸ピッチ四千噸重油七百九十二噸中油八百六十四噸輕油三十六噸ナフタリン四百噸にして其の他本年十一月より右銑鐵より鋼塊六萬二千噸年額を生產し更に鋼塊より鋼片一萬八千噸大形鋼材一萬三千噸厚鋼板三萬噸を生產するの計畫なるに徴し之を觀るも其の効果の大なるべきは豫想するに難からず

(五)保稅制度　現行保稅制度の主なるものは保稅倉庫こ通過貨物保稅の二種なり言ふ迄もなく保稅倉庫こは貨物が輸入せられたる際輸入稅の徵收を猶豫して一時該倉庫に藏置せしめ庫出の上之を輸出するこきは之を許可し其內國の消費に供する目的を以て庫出する場合に始めて輸入稅を徵收するもの即ち保稅倉庫は輸入稅の徵收せられたる貨物を一定の期間輸入手續未濟の儘藏置するを得るものにして庫敷料を負擔し稅金豫納の利益を殊に仲繼貿易上多大の効果を來すものこす而して保稅倉庫は官設に止まらず之が私設をも許可せり○通過貨物の保稅こは或る一國の貨物を第三國に輸送する場合通過手續に依り保稅の儘國內を通過せしむるの制度にして該貨物の通過に依り取扱ひ商人其他に利益を得せしむべきを以て通過貿易の發達が一國に利益するは論を俟たず今保稅倉庫利用貨物の狀況を見るに大正元年に於ける入庫額百二十四萬餘圓なりしが同六年に於て六百二十九萬餘圓を計上するの盛况を示せり然れごも未だ仲繼貿易上保稅倉庫を利用するものなきは頗る遺憾こするこころなり更に通過貿易に至りては近來交通機關の發達時局の影響等の諸原因相俟つて異常の發展を示し(一)淸津及び間島、琿春間を出入するもの(二)釜山新義州間に出入するものを合せ大正元年に於て二百二十八萬餘圓に過ぎざりしが同六年に於ては實に六千三百三十八萬餘圓即ち約二十六倍の增進するに至れり(完)

本紙定價　壹ヶ月金七拾五錢　……
廣告料金　……
發行兼編輯人　……
印刷人　……
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　……　振替京城三〇〇番

並行線(四十)

瀧　閑村

梅雨が終りに近づいて、强烈な夏が來た。

頭上に茂つて行く樹々の綠を、下を行く女の洋傘を美しくする。辻々の鮮かなペストが射る日光には火も面を背けて舌を吐き喘いだ。

官太郎は同窓の黑田からこんな葉書を受け取つた。

過日は京釜鐵道で失禮した、久しく御無沙汰したが漸く用も片付いたから、明朝八時滑の最大急行で御下する、若し停車場へ出てくれゝば是非お眼にかゝりたい。都合によつたら釜山へ一泊位してもいゝ、委細は拜眉

官太郎は此同窓に逢ふこごを喜ばなかつた、けれごも人の情に餓ゑてゐる官太郎は逢はずにはゐられなかつた。

時間表を繰つて、少し早く午飯を食つて停車場へ出掛けた。途中で夏帽を風に取られて、した、かに叱し、且つ慚ぢた。京釜鐵道で離別した時は、今の失意の官太郎ではなかつた、けれごも人の情に餓ゑてゐる官太郎は逢はずにはゐられ……

此を付けたが、拭いて冠るより外に仕方が無かつた、歩廊へ出るこ、洗面場の鏡は飾りも無く自分の姿を映した。窶れた顏、窶れた服裝——官太郎は横を向いて通り過ぎた。

激しい響を打つて列車は入つて來た、二三等車の幾人は官太郎の前を過ぎて停つた。左右を顧みてゐるこ

『池谷君此處だ此處だ。』こ聲を掛けて前部の二等室から黑田は肥つた姿を現はして。歩廊へ降りた。

『久濶、葉書を有難う』

『イヤ、實は君がまだ此方にゐるか知らなかつた處へ、同窓會で聞いてね、居るなら逢ひたいこ思つて手紙を出したんだ、病氣だつたさうだね、モウ快いかね』

『有難う、身體はいゝが、都合で朝鮮に行く事は止めたのだ。』

『で今何をしてゐる。』

『今は遊んでゐる、身體がはツきりしなかつたから……』こ云つて自分で自分の言の矛盾に心付いて下を向いた。黑田は快活に、

『ぢやア、ごうだね僕の方へ——滿洲へ遣つて來ちやア——仕事はいくらでもあるから、君の都合たから强ても云へんが宜かつたら一つ奮發しないか。』

『有難う、よく考へて見て……或は厄介になるかも知れないが、今此方で計畫してゐる事もあるから……』細りたいのを我慢して苦しさうに斯う答へた。

發車用意の鈴が響き……。

『おやァ』こ黑田は車へ返つて『まア考へて見たまへ、同窓會は盛んだつたよ、皆氣焔が高かつた。失敬しました。』

列車は徐かに離り出した、池谷は列車に沿うて歩き出した。列車は徐行でも池谷を追拔いた。フト見るこわが池谷を行く後部の二等室の窓に見る高山の顏。靜子の顏。

『アッ高山……』

此聲を聞くこ靜子は立上つて物はしく半身を窓外に出した。池谷は我を忘れて驅り出した。

『危い〳〵』

驛員に抱止められた時には、列車はズンズン縮まつて行つて、窓の白い顏も薄くなつて……消えてしまつた。

書道の話(三)

今關天彭氏談

乙、書法

書法こは書を書くに付いての法則を論ずるものであります。この法則を始めて云ひ出したのは、後漢の蔡邕こいふ人であります。この蔡邕には九勢こいふ著述があつて、落筆、轉筆、藏鋒、藏頭、など、いふ九の法則を論じて居るが果してそれが蔡邕に出たものかごうか分りませぬ。其の次には晋の時に衛夫人の筆陣の圖こいふ名高いものがある。それは衛夫人が李斯などの筆法へ自家の考へを附合せて七箇條こし、これを子孫に貽すやうにこいふ意味で書いたのであります。七箇條こは即ち

一　如千里陣雲隱隱然其實有形

丶　如高峰墜石礚礚然實如崩也

丿　陸斷犀象

乚　百鈞弩發

丨　萬歲枯藤

㇏　崩浪雷奔

𠃌　勁弩筋節

であります。この筆陣の圖に題して王羲之の文章があるが、之は書法を云々する人々の極めて大切にして居るものであります。併し、その文章も亦何こなく疑はしいものでありますから、宋の朱子は、其の疑はしい處を取除けて居ります。この文章の終りの方に王羲之が李斯や鍾繇のやうな昔の名家の書いた石刻を見て、始めて自分が衛夫人に學んだ非を覺つて多くの石刻を覓めて、それから書を學んだこいふことが書いてあります。筆陣の圖の次には唐の太宗の筆法訣こいふのがあり、又歐陽詢の八法なごこいふものがある。この八法は衛夫人の七箇條へ一法を加へたものであります。筆法の事に付て殊に名高いものは永字八法であります。この八法こいふのは、永の字の初筆たる丶を側こ云ひ、第二筆の一を勒こ云ひ、第三筆の𠃌を努こ云ひ、第四筆の亅を趯こ云ひ、第五筆の㇀を策こ云ひ、第六筆の丿を掠こ云ひ、第七筆の丿を啄こ云ひ、第八筆の永を磔こ云つて、一々法則があるのでありますが、如何にして傳來したかこいふこ、この法は楷書が完成した時から出來て居るもので、張芝でも鍾繇でも王羲之でも皆これが傳授を受け、隋の智永こいふ人に至つて、始めて其の趣意を敷衍して廣く世間に授け、其處で世間に傳播したこ云ふ大へんな履歴つきであります。然るに今傳はつて居る八法は、唐の李陽冰から來たこいふことであります。李陽冰の言葉に、王羲之は永の字を十五箇年習つたこいふことがありますが其の眞僞は保證が出來ませぬ。又顏眞卿が張旭から授かつたこいふ秘法十二意なごこいふものがあつて、これも亦大分名高いものであります。これ等は書家の口傳があり又書く時の實際問題であるから私共のやうな門外漢の窺知することの出來るものではありませぬ。

送人從軍　藤原藤陰

歐亞山川草木腥。皇軍起欲濟生靈。若追胡虜過蒙古。爲問當年源義經。

學韓曰、余曾遊蒙古、讀高作不能無感慨

送人從軍　兒島九皐

從軍一劍出鄕關。報國丹心見顏還。父老期君奏凱日。金鷄旗赫輝胸間。

學韓曰、眞是人人所期待、非浮言也

送人從軍　竹田蕉雨

硝煙彈雨拂妖氛。一起將從禹里軍。男子元無離別淚。旭旗翻處樹殊勳。

學韓曰、意氣堂堂

送人從軍　大垣金陵

西北風雲頻告急。皇軍兪入大荒天。……百戰絕氛祲。埋骨不關何處邊

學韓曰、一氣磅礴、話送別發之究有稱排岳之勢

◎謹告

石炭其他諸材料暴騰ニ付瓦斯料金及電車割引券代金ヲ左記ノ通リ改定仕候間此段謹告仕候也

記

一、瓦斯料金　壹千立方呎ニ付　熱用　金武圓七拾錢　燈用併用　金武圓四拾錢(大正七年八月十日ヨリ實施)

一、電車割引券代金　武拾回券　金五拾五錢　四拾壹回券　金壹圓拾錢(大正七年八月一日ヨリ實施)

大正七年七月二十五日

京城電氣株式會社

財團法人　電機學校　生徒募集

豫科(晝)(夜)　本科一期二期　選科(晝)(夜)　豫科一期本科一期二期　選科高等科電氣化學科　入學申込九月末限　規則書申込次第送　校外生(特殊の通信教授)(普通の通信教授)隨時入學許す　東京市神田區錦町三丁目　電話本局三二五、七九八、五二三〇

徳富蘆花著

新春

第卅五版

三六判四百六十頁　綠金裝羽二重表紙　定價壹圓六十錢　送料——八錢　著者スケッチ色刷　特揷寫眞版五葉

□裸うれしい眞夏が來ました。

□眞夏に『新春』を讀む——錯誤ではありますまいか。

□否、否。夏こそ讀まるべき『新春』であります。

□赤裸で母胎を出た男一疋が、五十年を費してまた本來の赤裸に復へつた嬉し悲しの述懷の大文字『春信』を初こし、

□其赤裸のアダムがイヴを相手の情交廿五年を舞臺を伊香保の山に借つて影繪の樣にほの見せた『春の山から』でも

□青磁天下の白熱地獄に綠幾處の無花果の葉陰の泉懸しい聖地の夏を語る『ハレスチナの回顧』

□此も偉大な裸男のトルストイを相手の十三年前の夏の思出を書いた『ヤスナヤポリヤナの回顧』

□近くは昨夏著者が太平洋に親して南極から來る大海原の風に吹かれた驩喜を歌ふた『九十九里』

□其他一卷四百六十頁の何の頁にも『人の子來れ、裸で踊ろ』こ謂ふやうな、赤裸な、生々こした大自然がきらゝ、きさゝめき、躍つてゐる『新春』は、即ち是れ自然の福音、赤裸の驩喜、夏こそ殊に共鳴されべきものではありますまいか。

賣捌　東京京橋區南傳馬町三丁目　振替東京四〇四六六番　福永書店
京城本町(振替一、四五四)　京城本町(振替一、五七三)　大阪屋號書店　日韓書房

製藥並ニ各種製劑　各種粉末藥

完全なる新式設備を以て眞正なる純良品を精選し製造に最善の注意を拂ひ優秀にして御用命の程奉希上候　試驗部を完備し各種製品の直輸入を仕候　現在品豊富に候

門司市東本町一丁目　東洋製藥株式會社　電話一、〇一七番　一九四三番
製藥工場　門司市外大里町
試驗部及研究所　同
技術顧問　森永伊吉

最新刊

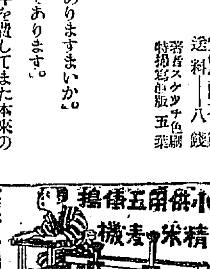
書名　著者　定價

◎朝鮮大地圖　一圓　三圓五十錢
新日本見物　……　六・八〇
石山脈縱横記　……　一・五〇
應用英文解釋法　深澤由次郎　一・五〇
最新植民地案內　植民地調査會　七〇
衛生百話　下　一・五〇
◎朝鮮法規提要　法制研究會編　一圓八十錢
大正聊齋志異　七五
譯註ファウスト　新井　一・五〇
紙上の動物園　一・七〇
つれびき　一・〇〇
梨の葉　一・一〇
◎縮刷世間學　定價九十錢
山水　一・二〇
圍碁實力養成法　七〇
家庭關係十二ヶ月　九〇
◎ポケット日鮮語會話　定價七十錢

京城本町　大阪屋號　電話……　振替京城……

秋蒔種子　精選　農家諸君高價なるも正確の種子を望まるべし而も弊園の種子は正確にて有名　……農園

小供用五俵搗　精米麦機



大阪市江戸堀　福井商會本店　說明書進呈

夏の增刊　幼年の友　一夏の繪噺　一冊十五錢
長篇繪噺　父のゆくへ
特別附錄　夏の繪手帖
◉極樂島旅行　◉雷の親子　◉星の神サマ　◉波のサヾザマ　◉蛙とオケラ　◉難破船　◉金魚のお墓　◉人魚の笛
東京　實業之日本社

顧問　大隈侯　五博士
種苗定價表　無代進呈
社長　三枝守富　相談役　牟田口元學
東京內藤新宿　東洋園藝株式會社　振替東京二四三五七番

"PINE"

愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
特許既願防破裝置附　繰出式萬年筆　インキ止式短軸　インキ止式實用向　パイン學生號　ビジネスペン(事務用)　金六圓八十錢　金四圓九十錢　金三圓八十錢　金二圓八十錢　金一圓九十五錢
不具合　又自然破損は交換快諾　又は無料修繕
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

優等清酒　菊正宗
釀造元　富安本店　福岡縣三井郡山川村
發賣元　富安京城支店　京城永樂町二丁目　電話……　振替口座……
樽買御斷り

金剛山寫眞帖

定價　金武圓五拾錢　送料　鮮內三十二錢　鮮外三十三錢

金剛一萬二千峰の絕勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べくる時將に漸く盛夏に入らんとするときにこを繙かば京城腋下に湧くの概あるべく更に又た近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絕好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり

發賣所　京城太平通　振替京城三〇〇　京城日報社代理部

看護婦募集廣告

志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし

大連　滿鐵大連醫院
奉天　南滿醫學堂附屬醫院

◇支那の出兵 正式に可決さる

支那政府に於ては二十三日の閣議に於て陸兵二千を海路浦鹽に出兵する案件正式に可決され先發隊の出發期は日本と協議の上決定さる可しと（北京特電）

◇岑春煊南寧行

岑春煊氏は陸榮廷氏と會見の爲二十二日南寧に赴きたり（上海電報）

◇獨墺俘虜軍侵入 支那軍戰意無し

セミヨノフ軍を包圍せる獨墺俘虜軍の一部は既に支那領土に侵入し支那軍の前線に對し砲擊開始せるも支那軍は更に戰意無しと爲に滿洲里に大恐慌を來し海拉爾に引揚るもの七列車に達せり流言蜚語熾んにして人心益々動搖せり尙ほ軍事通信禁止されたり（哈爾賓特電）

◇對米回答と米國

華盛頓十九日發電＝米國々務省は未だ西伯利出兵問題に關し日本の回答に接せざる旨言明せり（ロイテル電報）

◇中米ホ國の宣戰

中央亞米利加のホンジユラス共和國は獨逸と國交斷絕し居たるが遂に去る十九日宣戰布告せりとの報あり（東京特電）

◇西園寺侯動靜

西園寺侯は廿五日朝上野發伊香保に向ひたるが當分同地滯在の筈なり（東京特電）

◇大阪解合成立

大阪堂島市場紛擾は二十五日當限二十六圓五十錢中限二十四圓八十五錢にて解合成立し久敷間の紛擾問題も之にて解決を告げたり（大阪特電）

◇兩陛下御避暑

天皇皇后兩陛下には時局の爲め御避暑一時御見合せの模樣なりしが來る三十日明治天皇御祭の後日光に御避暑あらせらる可く宮內書記官は同地に出張諸準備を整へ復命する處あり近く行幸啓あらんと漏れ承はる（東京特電）

◇燐酸肥料値上

關西肥料聯合會は二十四日夜開會されたるが燐酸肥料は現在協定値段より十錢引上げたり（大阪特電）

◇中村關東都督

中村關東都督は二十五日朝東京驛發神戶より乘船歸任す（東京特電）

大阪より

▲輸出減少品々 農商務省調査本年上半期の對外貿易に於て我重要輸出品中前年同期に比し五十萬圓以上を減少せしものは

銅（塊及錠）	三三、七八〇、〇〇〇圓
亞鉛 同	六、五四九、〇〇〇
米	五、五一三、〇〇〇
精糖	一、九六二、〇〇〇
綿メリヤス（はだぎ）	一、六九〇、〇〇〇
硫黃	六五二、〇〇〇
樟腦	五五九、〇〇〇

にして銅の激減せるは前年度に於て特別盛況を呈したる英佛兩國へ初め米國及び印度に對する輸出が甚だしく減少したると西班牙向き輸出の殆んど杜絕したるものにして此は倫敦市場に於ける銅價の低落したると同時に於て割安の米國品と對抗せざるべからざりし事情あると運賃の騰貴船腹の不足等より輸出困難なると露國革命後同國への輸出激減したるとの結果によるが如し次に綿メリヤスの輸出減少したるは主として英國に於ける印度への輸出減少したる結果にして本邦品の同國向き需要者間に招きたる不評の聲も又幾分之に影響したるに依る

▲澱粉强硬 輸出澱粉は[illegible]先高を見越せる[illegible]筋は不安の念を强めて[illegible]前より漸く手合ありたるも猶依然强調[illegible]氣配は自然硬調を呈し當月限[illegible]圓十錢より漸次昂騰十四圓五十錢處にて手合ありたるも猶依然强調にて十四圓五十錢處にて買氣ある處も手持筋前途を見越して賣進まざる爲め手合出來ざるも氣配頗る强硬にして前途の値崩を豫測する能はざる狀態なり

▲砂糖更に低落 砂糖[illegible]は五六の兩月引續き買方の破綻を生じたるより市場兎角警戒の念去らず取引閑散を極め居ると同時に甲場もジリ安にて分蜜十四圓[illegible]

▲相場外の高値 を喚起[illegible]最近小賣相場三十三錢を[illegible]に一部强氣をして四十錢說をなさしむる如き一に大口輸出の[illegible]果にあらざるはなし之れ實に農商務省が內地米價調節に急にして鮮米輸出の時期如何を考慮せざりし過失に原因し延いて[illegible]

◇飛行警察隊新設 臺灣總督府の理蕃新計畫

臺灣總督府にては理蕃事業に飛行機を使用するの極めて有效なるを認め陸軍內務兩省と打合せの上飛行警察隊を新設するに決し經費を來年度豫算に編入する事となれり而して最初先づ爆彈投下の飛行機二臺を以て臺北を根據とし臺中臺南阿緱等に格納庫を設け各蕃地を連絡飛行し爆彈投下する計畫にて操縱者は多分民間より採用す可く總督府の[illegible]は一般所謂に[illegible]張蕃地の[illegible]爲せり（東京特電）

◇中旬鮮鐵成績

七月中旬に於ける滿鐵朝鮮線の營業收入は客車十八萬零百二十九圓貨車十三萬八千九百六十一圓合計三十四萬九千零九十圓にして前年同期に比し八萬五千百八十五圓の增收を示せり

◎瑛春材出廻活況

本年瑛春材の淸津出廻りは六月末頃多く搬出に便なりし爲め非常の活況にて今日までに既に二千八百の同著あり尙ほ豆滿江口土里に留しあるもの七千本現地より出の運となり居れるもの七千本内外あり本年中には十萬に同著するものに[illegible]ざる狀態なりと（淸津）

◎間島木材[illegible]況

間島地方に於ける木材搬出狀況を聞くに本年春以來兎角降雨乏しく山元の造林を流出せしむるに困難なりし爲め材木の拂底極度に達し[illegible]各需用者の騰貴を告げ居たりしが最近の降雨續きにて山元の造材は今流出盛にして豆滿江の如き上流より流出する材木夥しく[illegible]界は漸く愁眉を開くに至れりと

◎北鮮霖雨と農作

北鮮間島地方に掛ては六月初旬より降雨多く今日に至る迄殆んど[illegible]なるより[illegible]作[illegible]

◎高山植物發見

六月中旬長白山の植物採集に赴ける總督府囑託中井理學博士は山脈中の最高峰感興山に於て未だ學界に知られざる高山植物二十餘種並に草大黃等を數多發見せり、感興山は植物學上寶庫にして山上には高山植物咲き競ひ頗る美觀を呈せり（咸北特電）

▲地方農民の先高

間島[illegible]地方に於ては近來米價の騰貴せる[illegible]に諸他の原因と相俟つて鮮米の買收は痛く人心を刺戟し[illegible]を一層强からしめ穀物出廻り減少ならしめたるは爭ふべからざる事實にして而も仁川の如き目下米穀業者の必需品さへ辛ふじて供給を得つゝある折柄前記買付に係るもの約四萬石は連日に亘り數隻の汽船に依り搬出せられつゝある現狀を目擊せる市民は一層在米減少の觀念を激發せしめられ人氣の[illegible]く所自然[illegible]

◎買付米移出中止請願 —再び商業會議所側より—

近頃農商務省に由り行はれたる鮮米買付は其の結果に於て米價の騰貴を誘致し在鮮民生活上由々敷問題なりと認め仁川商業會議所は

▲二十四日當局に實情陳述書を提出する所あり京城商業會議所にも同升の援助方を求めたれるが右陳述書の要は「農商務省に依り執行せられたる米買付は寺內端境期に當り[illegible]

▲實に看過すべからざる重大問題にして當時の深甚たる考慮を希はざるを得ざる所なり、仁川穀物協會の請願する所亦[illegible]に此の趣意に外ならず即ち深く實際を賜ひ至急農商務省に御交涉の上前記買付米の一時移出中止を斷行せられ以て緊張せる人心を和し米價の人爲的騰貴を抑止して[illegible]族の爲めに[illegible]を以て[illegible]を抑はしむるに至りては國民生活上[illegible]」と

▲石油禁輸不安 關係者

[illegible]來の若き[illegible]爪哇は[illegible]五厘ミ之が[illegible]弱なるより分々は[illegible]二圓四五十錢方の開きあり特別なる材料の出現せざる限り尙一段の低落を豫想せられ精糖も二十六圓四十錢の間へなるも大勢は先安の外なき狀態にて何れも前途下押しを見越して塗りの振合にあり

▲石油の禁輸に少からぬ打擊を蒙れる我石油界は更に一層の不安を呼べる事情は頃日來大手筋へ入電に依れば米國に於ては東川石油四十四萬六千噸に上りしに加ふるに飛行機用『ナフサ』擇油を石油社に一日八百石以上の上納を禁ぜしたるを以て之が原油は十萬石以上を要する事となり從つて原油供給力の前途に大不安を生じて官民共に油田探索に狂奔し更に南米コロンビヤ方面にさへ探鑛を爭ふるを辭せざるに至れる有樣にて我の進展と共に[illegible]事大[illegible]豐富賴の[illegible]には或は供給不足を告ぐるに至るやも保す可らず石油調節委員會に於ては輸出禁止を主張しつつありと言へば早晩石油の運命に逢着するやも知れず此際に於る我國の石油界を想到すれば誠に寒心に堪へざるものあるべし

◎北鮮烏賊漁業

淸津沿海には兩三年前まで烏賊の棲息なきものとせられしに近年之れが漁獲を見るに至り殊に昨年の如きは非常の漁なりしを以て本年は該漁業に從事すべく準備せる向き甚だ多數なる模樣なるが殊に本年より烏賊釣漁船四十餘隻が近く來漁の事となり居る爲め本年の漁業は一段の盛況を呈すべく尙同漁業は既に漁期に入れるを以て七月末より盛んに漁獲せらるべし（淸津）

◎鮮鐵の收益は朝鮮に投ず 本社の收支勘定には繰込まぬ方針なり 久保滿鐵京管局長談

大正六年度滿鐵管理の經營に依る朝鮮鐵道の營業成績は七月三十一日以降なりしに拘らず舊契約による總督府納付金を除き尙ほ鐵の收得すべき純益は

▲六十五萬圓 に達する好況を呈せしより二十三日調せる滿鐵の朝鮮線經營契約の改訂は政府の投資額百分の六乃ち大正七年度にては五千七百萬圓に對する三百四十餘萬圓に定めたるは（一個逐年累進するも）餘りに滿鐵に有利なるやとの議論は當方面に於て唱へられしに似たり右に付久保滿鐵理事は曰く六年度の收益は政府の投資額五千百萬圓の六分を總督府に納入し夫れ以上契約による報酬をなして九箇月間に六十餘萬圓を滿鐵社は利益せしも此の例を以て七年度以降を推すは敢て當らず何となれば

▲物價騰貴前 安價に購入せし材料極めて多く[illegible]價より[illegible]外の支出節約をなし得たる七年度以降は既約購入品使用の跡を絕ち時價購入の高價品を用ひざる可らず從つて收入の[illegible]割[illegible]

▲有形無形 に益する點多く此上鮮鐵の收入を本社に繰込む必要を認めざるを以て鐵の利益は全部朝鮮に於ける鐵道の改良に鐵道に附帶する諸施設に投ずる事により何等支出の增加を餘儀なくされ、點なければなり勞々六年度の利益六十餘萬圓の如きも近く某々の事業等に投ずる事となるべく現著[illegible]養成を主とする中等程度學校の新設の如きも其の一として目下考究中にあり又七年度以降も

▲鮮鐵にて 擧げたる利益は朝鮮に投資すべし從つて百分の六の報酬額が何か低きに失せりとて鐵は自己を利せんとするものに非ず

◎全北秋蠶豫想

全北道に於ける今年秋蠶種配布數は目下六千五百五十九枚にして聞くに六千五百五十九枚にして二十八日[illegible]は日下蠶種[illegible]貯藏庫たる大東山風穴に貯藏しあるが來る七月二十八日頃夫々各郡に配布の豫定なりと而して近年總督の奬勵の結果斯業は著しく進展し來りたるが本秋蠶の如きは既に[illegible]申込ある[illegible]其布數を昨年と比較するに五千二百九十九枚に比すれば實に千二百六十枚の增加を示したれば本年に於ける掃立枚數は昨年に比し非常の激增なる可きを豫知するに足るべし

◇淸津の海水浴場

淸津港の岩洞輪城附近の海岸は砂地にて海水淸澄なれば海水浴場として好適地なるを以て年々夏季に入れば海水浴の爲め賑ひ居れるが本年も此季節に入りたるを以て同地に於ける兵隊の初年兵百十名は練兵の爲め本月二十五日淸津を出發し同方面に向ひ[illegible]

◎久保局長訓諭

滿鐵京管局長久保要藏氏は滿鐵委任契約改定の調印を了へたるに付廿五日管局に於ける社員一同を特別室に集合せしめ一場の訓話をなせり

◎荒井氏東亞社長

東亞煙草會社の前專務として噂されし如く前度支部長官荒井賢太郞氏は二十二日東京に於ける總會に於て東亞煙草會社（資本金一千萬圓）の取締役に擧げられその互選にて社長たる事に決定せる旨其筋に通知ありたり

◎淸會鐵道兩橋梁成

淸會鐵道の[illegible]川橋山川の兩橋梁は假橋なりしより降雨の場合を氣遣はれしが六月初旬來之れが本橋架設に着手し七月十五日竣工[illegible]

閑言私語

◎日本にては善當甞賽成金代西伯利出兵は既に過ぎ敎賛の的となっていよいよ叫ぶ...

人の消息

▲武安福男氏（鮮銀神戸支店長）廿五日夜入京知へ
▲久我福禧氏（鮮銀釜山支店長） 同上
▲藤本利平氏（群山熊本農場主） 同上京城ホテルへ
▲西元俊平次氏（淸津商業會議所會頭） 同上
▲新田留次郎氏（咸北道第一部長） 同上廿六日夜非京
▲埼玉縣教育視察團一行二十一名 二十八日午前九時中等學校視察團三十九名
▲大阪天王寺中學生視察團三十九名 廿九日午後九時京城へ投宿の筈
▲三木進一郎氏（咸北道警務官） 二十五日入京城旅館へ

大正館 新大興行 刷

日活會社 特作映畫 明治座に於て藝術座の公演せる歌劇的作品

登場俳優 大村正雄 大井吉輔 桂木正夫 横山運平 立花貞二郎 高木楙太郎 染谷廣之助 藤野秀夫 藤川三之助 山本嘉一 小泉春雄 東猛夫 東二郎 新井淳 五月操 佐久間一郎 衣笠貞之助 水島亮太郎

專屬俳優（順はろい）

露國大文豪 故杜翁傑作

生ける屍

專屬俳優と歌劇座合同大撮影

さすらい歌唱者 東園江孃出演

登場俳優 石井漠 澤モリノ 東光子 糸井聚代 美都世きく代 山口はるみ 渡邊吉之助

歌劇座 特別出演

特別大興行 當る廿六日より上場

日活特約 大正館

寫眞 出張撮影 寫眞製版 京日寫眞製版部

セメント 石灰 硅藻土 火山灰 左官材料一式 各種色土砂 布海苔 莕 各種塗料品 左官用、東京鏝 煉瓦用、東京鏝 建築材料種々 各種耐火煉瓦 煉瓦 土管 瓦 各種苆類製造 九州火山灰合資會社 特約販賣 京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣 小野田セメント株式會社製 石灰特約販賣 京城旭町一丁目 電話九八四番 卸商 戸澤商店

土用うなぎ 例年の通特別勉强仕候多少共電話にて御用命の程奉願上候 京城本町二丁目 東京天ぷら御料理仕出 松金 電話六八六番

釜山著名商店案内

酒精、壺入 瓶詰 燒酎 西貢米 大豆 碎米 大麥 砂糖 麥粉 雜貨 釜山埋立新町 福榮商會

洋酒 鑵詰 糖粉 釜山 あづま商店 山まや

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店

パール 椿香油 パール ポマード パール 煉香油

毛髮の營養に富み日本に冠たる世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき現代理想の——椿香油なり

代理店 大阪 平尾レート 本舖 東京 平尾パール

フケトリ コニオン香水 カユミ止 東京 塚谷 京城出張所 本店

社告 七月廿日より京日案內廣告料金左の通り改め申候 普通 一回（前金）七拾錢 番外 一回（前金）金壹圓 匿名 一回 金貳拾錢 大正七年七月廿日 京城日報社

京日案內

亡荊妻リキ儀 大正七年七月廿六日 山口大助 親族一同 友人一同

看護婦及見習看護婦 三名募集 櫻井町一丁目 池上病院

牛乳の用意が出來ました 東亞牧場

採用 店員 一名 南大門通り五丁目 齋藤商店

女中入用 黃金町三丁目

子供入用 十五歲より十七歲位のもの二名 南大門通二丁目 吉野商會

◎暴風雨警報

○待たれる觀火大會

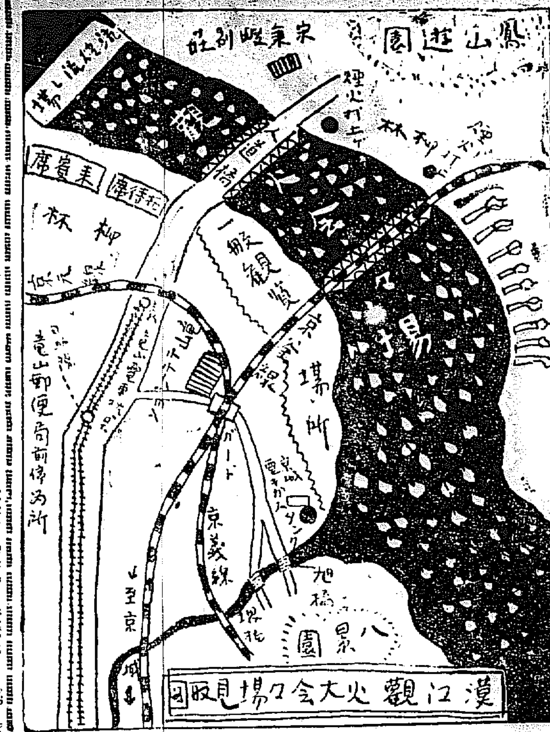
明廿七日華々しく擧行

一層の準備を整へ且區域を擴大して

待ちに待つた本社主催觀火大會は愈々二十七日(土曜日)午後八時から新龍山漢江沿岸で擧行する如何に不可抗力によるとは云へ一日の延期は本社は言はずもがな全市民をして甚だしく失望せしめたか人間萬事塞翁が馬とやら禍は禍なくも轉じて福となり延期したことに依つて却つて一層の準備を整へ行區域を更に擴大して當初の計畫よりも層一層盛大に且華々しく擧行することになつたのは本社の衷心より愉快とする所である

天も火陸も火水も亦火の壯觀を見よ

鐵橋の上流から時々刻々に流し始めるのだが流しては又流しあの廣い漢江が火の川と化した頃沙上五百の篝火は熠々天を焦さんばかり一齊に燃え上りこれと相前後して數百發の煙火を打上ける筈天も火陸も火水も亦火!!!その壯觀壯々しい形容詞を昇つぎ出す迄もなく觀は想像するだに胸躍る位で實に……からうそれも明日の晩見落して悔を後日に貽さぬ樣紳士も淑女も老人も子供も手を引合つて漢江へ漢江へ!



▽招待席の位置

來賓席及び招待席は京城新龍山の電車終點漢江の流れ足をひたす一帶の沙上に設くる豫定であつたが區域の擴大と共に之を新龍山人道橋の上流に設けることゝなつた此處は鷺梁津漢江社の對岸上流から下流へかけての眺に富むのみならず深緑の楊柳參差として枝を交へ江上を吹き來る風の涼しさ得も言はれず納涼がてら觀火には申分なき最適の場所である

▽流燈はその附近から流す

眺めの好い人道橋の附近

流燈は京釜線の鐵橋下から時々刻々流下せしむる豫定であつたが之も區域の擴大に伴ひ約五百米突を延長し人道橋の上流より流下するとになつた篝火の場所は最初と變らず鐵橋の附近から漢江の流れに沿ふ約千間の沙上五百の篝火を二列に配置すること前の如くであるが煙火は流燈同樣位置を變更し漢江神社の眞下楊柳のコンモリ繁つた小丘から打揚げる事となつた

▽其夜の壯觀

漢江へ漢江へ

流燈の數は無慮三千前記の如く……

○煙草販賣業者に稅金の講話

廿九日から三十一日まで市內の小學校で

京城府に於ては八月一日より煙草稅令改正に付之れが周知徹底方を計る爲め各製造販賣商に注意事項を配付しつゝある關係上……改正の要點及び販賣者の八月一日に於ける持越煙草の取扱ひ方などの詳細を說明し當業者よりの質問にも應ぜんが爲め左記の日時場所に於て講話會を開催する由一般煙草販賣者は便宜最寄の場所に於て聽取する筈なりと

▲七月二十九日午前九時より通義洞二番地梅洞公立普通學校▲同日午後一時より貞洞二十八番地西大門公立尋常小學校▲七月卅日午前九時より慶雲洞十八番地校洞公立普通學校▲同日午後一時より龍山元町二丁目五十四番地元町公立尋常高等小學校▲七月三十一日午前九時より米倉洞二百九十番地於義洞公立普通學校▲同日午後一時より櫻井町二丁目百八十二番地仁峴公立普通學校

○若松市疑獄

若松署に於ては同市役所の稅務課吏員大塚□次郎等召喚取調中なり(若松電報)

○小學校長打合

二十七日午前八時半京城府廳に於て官公立小學校長會議を開催し敎育方針に關する打合せを爲すべし

○水泳臨時列車

昨年の通り鐵道に於ては京龍各學校生徒の夏期休暇利用水泳者の爲廿五日より午後一時半に南大門發西氷庫行きの臨時列車を開始せりと

○『暑』と闘へ然して

これを征服せよといふのが各學校夏季休暇の方針

各學校の暑休が近いた、心身の鍛錬にも土地見學にも讀書にも此の暑休が近いた……

夏休中は三日から二十一日迄例年の通り漢江々畔西氷庫に於て水泳を開始することになつてゐる時間は毎日午後一時から三時半迄、期間中は……

京城中學校では……

龍山中學……

○東西畫家の睨み合

來るべき文展を中心として

審査の排斥運動開始せらる

文展審査員の任期は八月中旬を以て終るのであるが、此の期間を機として審査員銓衡の上で一悶着起きれば止まぬ形勢である其の原因を糺して見るに京都の竹內栖鳳氏が……

◆門下生等

の文展に對する不平に動かされて東京側審査員中の一二名の排斥を企て之が思ふ通りにならぬならば、自分は文展審査員を辭する考へであると云ふことを京都繪畫專門學校長事務取扱ひの荒木矩氏に迄申出で、荒木氏をして其の意味を文部省に通ぜしめたのは棲鳳門下にして文展反對畫家等の組織せる國畫創作協會の創立される頃であつた。而て

◆棲鳳氏は

之と同時に、國畫創作協會に京都派の加入を運動せしめ、若し自分の意志にして徹らなければ京都派畫家の大部分は文展に出品せざる可しと云ふ決心を暗に示していて正木主事は急遽京都に赴き棲鳳氏等の意見を徵した。其の云ふ所は……

◆麥僊一派

棲鳳門下が不平を懷くに至つたのは實に此の時からである……

◆優劣を論

ずるは……

○瓦斯電車賃金値上

電車は回數券の割上げ

京城電氣株式會社にては、瓦斯料金並に電車回數乘車券を値上げすることに決定し前者は八月十日より後者は八月一日より實施することゝなりたるが其の値上げの內容を聞くに瓦斯料金に於ては從來の千……

○軍國の秋を彩る大演習

來る十月烏飾ケ原に於いて

陸軍陣地攻防大演習擧行

來る十月一日より十日間の豫定にて豐橋市外高師ケ原に於て陣地攻防演習は近衞十五大隊によりて行せらるゝ大規模なる陸軍陣地攻防演習には目下全國の工兵隊一部づゝ參加する筈にて九月二十八日までに……

◆塹壕の掘鑿

……

◆防禦工事に

對し……

◆表面上の

理由を異にして……

▲炭價の騰貴が値上の理由と

會社當局者は言ふ……

○營兵志願者教育

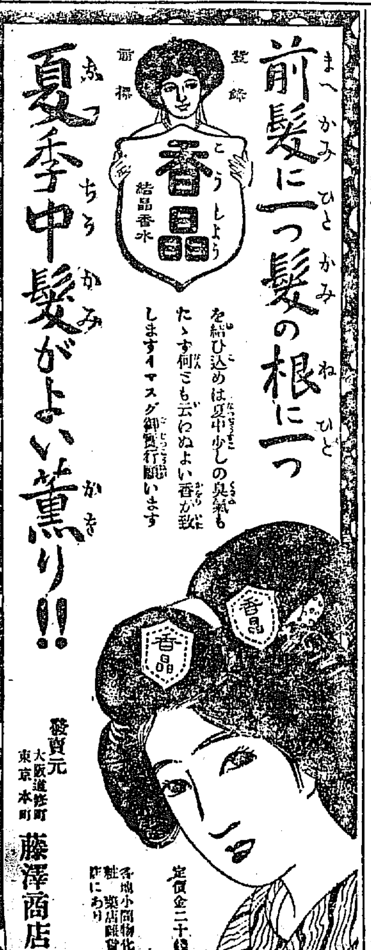
京城憲兵隊本部にては八月十五日より三ケ月間上等兵志願者に對し教育を行ふ可し

○田中第三……

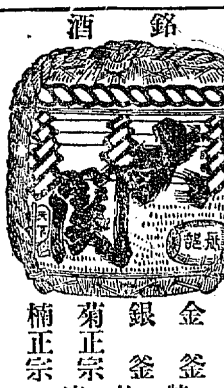
▲生ける屍

覆面騎手

☆ 漢江觀火大會
會場は新龍山人道橋を中心として
◇雨一週延期の爲め◇萬般の準備計畫擴張
◇會場は新龍山の人道橋より上流二町◇麻浦に到る沿岸-沙上-水上◇流燈數千篝火幾百、打揚煙火數百發◇廿七日午後八時より十時に到る間は◇燦火炎々の大偉觀に眩惑の感あらしむ◇來賓席招待席は人道橋電車終點に變更
來賓席、招待席は電車終點橋畔綠蔭
京城日報社 上報 每日申報社

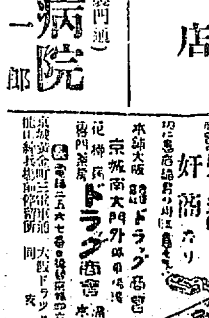


わきが治療好期 全快實驗 ……



◎夏洋服
ヘイヤクロス(品切)
斜子本リンネル 白及び薄茶
シユランク白及び薄茶
白パナマ地
ラミー麻(白及び薄茶)
白綿リンネル
地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候
京城日報代理部

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
電話 一八番 二六〇〇番
酒井婦人病院
院長 酒井一郎



妻の心 四十八

八の二 小林蹴月作 武内桂舟畫

『なに、奥の事が心配だとは……?』

久三郎は、お芳に似合はぬ變な事を云ふなと、思ひながら問ひ直した。

『だつて、心配で御座いますわ。貴郎は與ひ町川家から分離遊ばした所で、奥樣は必らず貴郎と分離遊ばす氣遣ひはないでせう。然うすれば矢張、貴郎と奥さんが永久に同棲するなんて、そんな氣樂な譯にはゆきや爲ませんからね。』

『なあに、そんな不合理な事があつて堪るもんぢやないさ。乃公が町川家から分離する以上は、自然の結果として、艶子とも分離するのは分りきつた話だよ。』

『いゝえ、駄目で御座いますわ。出來る事なら、矢張貴郎は、町川家の御主人として御在になつて、其處を圓滿に遊ばした方が、貴郎のお爲めでもあり、奥樣のお爲めでもあらうと存じますがね。』

『おい、お芳、お前までが妙に乃公に向つて意見がましい事を云ふぢやないか。此の十日間ばかり乃公は、何方向いても、意見と注告との槍襖に取圍まれて居るので、それで無遮苦遮まぎれにお前の許へ出て來たのに、お前までが、又、こんな面白くもないお談義然たる事を持出すと云ふ事があるもんか。止せ止せ!奥だの艶子だのと云ふ話は、耳に聞く丈でも陰氣臭くツて仕方がありやせんのだ。』

お宅の奥樣ツてお方は、死んでも貴郎とはお離れにならないと云ふ決心を有つてお在なんだツて云ひますから、若しかして、貴郎の被仰るやうな事になりました所で、奥樣は、飽まで貴郎の跡を慕つておいで遊ばすに違ひありませんの貴郎の前ですけれども、女の一念ほど恐しいものは御座いませんからね。』

お芳は、艶子の事を云ふに付けても、その實自分も卒となればその逆りであるぞとの意味をほのめかすのである。

『は、は、は、女の一念は凝つて、蛇ともなると云ふからね、だがね、お芳、そんな取越苦勞をするにや當らん、何にせよ、艶子は半死に近い病人なんだよ。幾干心で什う思つた所で、活動の自由が利かんのだから、實を云ふと可哀さうなものさ。』

『活動の自由が利かないからこそ、尚更一念が恐しいと申すんで御座いますわ。』

『まあ、然うで御座いましたか。そりやおわるう御座いましたわね、では、その方のお話は一切中止にしてお銚子の事に致しませう。』

『は、は、は、中止と銚子とは圓滑近しだ。雨を肴の草酒なども、お前の許でなければ出來るこつちやないからの。』

面白くない事があればあるほど酒を多量に飲むのが、久三郎の一癖であつた。此の日も雨頭何の彼のと、お芳を相手に、飯ぬきの正午近くまで飲みつゞけた。女優上りのお芳は、近所の懇意な長唄の女師匠を呼んで來て、それに地を彈かせて自分が唄つた。果は岩田帶に近い腹を抱へて、北潮を踊つたりして見せたので、久三郎は、近來になく悦に入つて了つた、此の前に來た時には、若龍の問題から火が付いて、悲を兇れの何のと泣き飽と怒り飽との騒爭であつたが、今日は全然反對の大陽氣である。お酒と忙しい思ひしたのは、臺所の女中であつた。

『御免下さいまし。』

門口の鈴がからからと鳴りひゞくと同時に、柔和な女の聲が聞えた。女中は、濡れた手先を前垂で拭きながら、取次ぎに出て見ると、三十恰好の銀杏返しが立つて居る。

『あの、何方からお越しで御座います。』

『はい、神田から參りまして御座いますが。御當家に若しや、町川の旦那樣がお在では御座いませんでせうか。』

『町川の旦那樣ならあの、昨晩からお泊りで御座いますが、貴女は神田の御方樣で……?』と、女中は、固より何事も知らないので、正直に見た通りを答へる。

『まあ、左樣で御座いましたか、漸く一安心致しまして御座います、恐れ入りますが、あの旦那樣に一寸俊やがお迎ひに參つたと、被仰つて頂きたう御座います。』

云ふまでもなく、此の銀杏返しは、町川家夫人艶子の附人たる古參のお俊なのである。

○臺灣近海の海賊船

兩三回に亘りてその出沒を見たる海賊の本據は福州附近の南日島にが此程基隆廳間庁金春順所有の合て賊魁頂星虎は三千の部下を有せ[illegible]▲[illegible]具一名乘り[illegible]颶下[illegible]淡水へ西瓜を輸送する我[illegible]船が途中にて出會しる時の如き[illegible]陷りし際同員は腹部其他に鉈刀を[illegible]讃し數萬圓の經費を支出して警戒して外國の地圖等に明白に海賊島[illegible]に當れるが完全なる警戒船は快速[illegible]ご記されており我延和德川時代[illegible]は南日島の島民は其子孫こいふ[illegible]は支那人を部下こして使用し[illegible]發事し[illegible]波船あらば直ちに積貨を[illegible]尋ひ航海季節は海上に乘出して掠[illegible]

旅行の仕度

恰度旅行の季節となりました、旅行に携帯して行く品々は勿論日用の手回り品だけで結構です、其上に贅澤な不要なものを持つて行くと却つて荷介になります▲尤も其旅行先にもよりますが、不便な處では楊子、歯磨などの類なども安いものであるし、今はドンナ田舎に行つても大概は間に合ひますから之は必要がありません▲必要なものは第一に病氣に罹つた時の入用の藥品です、之には下熱劑と止下劑とを取揃へて置くことが肝要です、藥は成る可く賣藥を使はず豫てかゝりつけの醫師に調合をさせて持つて行くと同時に懐爐なども大切です▲それから避暑地では退屈勝になりますから何か其避暑期間に讀むものを持つて行くことを忘れてはなりません、田舎の宿屋などには讀む本などは一冊だつて備へてありませんから之は是非持つて行くべきです、思ひ出して東京へ註文の手紙を出しても返事の來る迄には大分日數が掛ります▲夫から又西洋蠟燭とか懐中電燈等は是非持つて行くべきであります、田舎で電氣のない處なら格別電氣があつても田舎は水力電氣で雨が降つたり風が吹いたりすると能く消ゑますから之は此場合に備へる爲め蠟燭の上等を是非持つて行くことが肝要であります、又懐中電燈は夜間に外出する時に之が必要であります

皮膚科 黴毒科 專門 外科 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

京城の名物(京城南大門通三) カフエータイガーの 洋食とアイスクリーム

日報俳壇

團扇・風器

馬を繋ぐ夏草に白き埃り哉 きさ女
夏草を壓して泥の撫かな 同
忘れ鎌見當らず夏の草茂る 同
貯の兒にたまきを灸も土用哉 同
繭賣つて湯治に旅立つ土用哉 同
手水鉢に棕櫚の花浮く土用哉 同
裏門の歩哨淋しや柿の花 青史
白壁の古びて柿の若葉かな 同
長き壁に乘れて葡萄の若葉哉 同
葉柳の中に井戸ある入浴哉 同
初夏の庭雜然と樹木かな 同
新賞の背吹かせる若葉かな 味川
塗替ふる小船の腹や五月晴 同
邑見と馬車の喇叭や蚊喰鳥 同
胡弓よくす唖の娘や青簾 同
火事跡の高樹烟るや蚊喰鳥 渓子
畠荷積むと驢馬の嘶きや夏の山 同
炭を焼く烟纏るゝ茂りかな 同
トンネルを出て國境の茂り哉 同
新緑や鵜二つ浮く水の色 草城
浮草の小さき花や鵜の月 同
浴後亦襲ふ睡魔や涼風器 卒蝶
浴衣人の婢に戯るゝ廊下哉 同

□草月鈔 瓦尾女背

△ 石炭船のあとを泳ぐ兒貰ぶ走 背
△ 蚊帳風げる座敷、そりて庭に在る 雲
△ 夕立中棕く蟲居りて如獄し 瓜
△ 晩口に朝顔澄すロほさしぎす
出き止まぬ觀音花や牧唄鳥

新刊紹介(到着順)

▲近代作家(花園緑人譯註) 小松緑氏の序に曰く、敬むる所の英文は特に平易明快なることゝ現代の思想と問題とを含んであることゝは一の大きな特色である云々原文と對照した懇切なる譯註あり三篇とは奇妙な斷片(ジャツロンドン)苦力(同)我儘な巨人(オスカーワイルド)にて面白き輕快なる口調にて譯出せる物語は何れも情趣味深く小松氏の言の如く全なる新思想の普及と讀者も切に本書の成功を祈るものなり(五十五錢東京麹町區下町二ノ二中外新論社)

▲新家庭(八月號) 本號の表紙は川端龍子『帥額』口繪は卷頭に額面二面大作見宮より御降嫁の宗潤侯令嗣夫人の肖像 伊東深水氏筆、三色版は安田稔筆油繪『涼風』寫眞版はコンノート殿下徳川慶久公の出發其他貴婦人名家の令嬢、時事寫眞、歐洲戰爭漫畫・近代泰西名高婦人肖像四十餘頁、讀物として西伯利亞出兵の本當の意義、主婦婦人が政治に携はるもめよ本篇は現代名流婦人界の五星栗女史が斯にて執筆したるものにして論壇に異彩を放ち他を壓すべき一大雄篇なり、但其第一の旨とせしたい安部磯雄飛行機の話 赤阪新五の瀬戸内海旅行記(水島爾保布)の挿畫揃へ(以下)特々しい夏のお化粧、婦人に是非も必要な美容體操 五十になつても若色の衰へぬ法、謡曲婦人の噂、趣味と實益とに富めり(三十五錢東京市芝區芝公園九號地玄文社)

▲婦女界(綠陰物語號) 去年の流今年の旅(御橋)肺病の完全治療法、八野村醫士)一人一話(編輯同人)しりかけた柿の木(岡本一平)等の清楽なる家庭に於ける夏期の好讀物等(二十錢東京牛込加賀町玄社)

▲講談倶樂部 八月號 小島孤舟の新小説恩師の娘山村母男の新講談紫野の尼紅梅(紅緑)六號室(佐々木邦)勇婦美代(美師 美人三幅對(伊天一)宮原小說懺千島(柴木)隨吹川 筑波四郎)宮前庭の東(丹波次)源氏車 坂東し郎)神谷水滸傳(紀潮花)大久保彦左(柳柯樓一夢)落語洒落小町(竹廼家雀)探偵小說暗殺婦人(怪面鬼人)厳窟王(石松夢人)外に多大の懸賞募集あり(四十錢東京本郷講談社)

▲雄辯(八月號) 評論界に文藝界に紛々として堅實なる地歩を占めつゝある諸大家苦心の傑作を集めたり(五十錢東京本郷區駒込坂下町大日本雄辯會)

讀者の領分

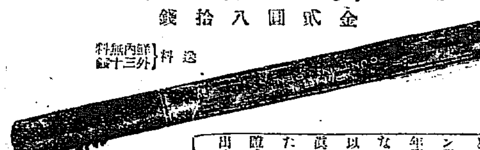
▲僕は或る目的にて貯金を頁目ばかり貯へたいのですが年齡十九歳、高等小學卒業一段の模範生となつて[illegible]事もありますが三ヶ年以上の月給にて雇つて下さる方はありませんか(就職希望生)▲昨夜所川ありて三更微水に上を過ぐれば月下眠を貪る

▲新附の民と口三十餘名[illegible]打たれ車夫[illegible]京城[illegible]都市にして如斯[illegible]の何れにかあるべき[illegible]通ぜず致て記者足下の[illegible]高教を仰ぎ中[illegible](大和町エムエス生)▲子の母に名ふ子供の百日咳に[illegible](コンナムル)を蜂蜜の中に入れ[illegible]日見れば[illegible]なり[illegible]らそれを毎日數度服用させたら[illegible]ります(一醫生)▲ほうし樣へ……[illegible]河の鯉なら[illegible]知つて居りますし[illegible]御座いますから何卒紙上で御住所お知らせ[illegible]あれば紙上でお答へ致します(松の月)▲正常に申込者總代[illegible]滿けて何千[illegible]投機的にして後にアレミヤムな利得せんとするものなり故に當事者は[illegible]なる考慮を以て十株に十株の配當面目なる株主に對しても公平なる[illegible]により割當をなされん事を求む(正申込者一人)▲京城[illegible]通辺に住む老さんとやら君の息子さんは[illegible]ないですか[illegible]う(ワイ生)

最上清酢 日本一 マルカン印

龍 醬油 ほまれ味噌 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

學生號 パイソン萬年筆 (耐久五年以上) 金貳圓八拾錢 送料外三十錢(鮮内無料)



五年以上の生命を前提とするパイソン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る

發賣元 京城日報代理部 京城太平通電話橘内十八番 振替京城三〇〇番

誰でも容易く色白くなる 日本に初めて出來た 美乳! 醫學博士 藥學士 合議發明!

更に新發見の美容素を加味せる最近の美乳を御試驗下さい!

僅か一瓶で美人となる 試驗はタッタ一週間!

美乳 定價 二十五錢
純白美乳 同 三十錢

大學白粉本店 本舖 矢野芳香園

卓絶せる成分 美乳は白粉でもなく化粧水でもなく又單なるクリームでもありません、それ等の有觸れた化粧品とは根本から全く成分が異つて居りますこれこそ斯道專門大家の苦心に依つて新に發見したた世にも驚くべき白色劑と珍しき美容劑の理想的抱合物で新時代の科學の力が隅から隅まで闊き渡つて居ります、美乳ほど美白成分の確實で顯著なものは現代に於て絶對にありません。

不思議の作用 白粉を塗けて一時だけ白くなつたのは洗へばすぐ剝げます、色の白さも美しさも其の生地からでなければなりません、美乳は實に此の新時代の要求から發見されたものであります、美乳を用へば皮膚の微細な毛孔を通じて最も完全に美白成分を吸收し皮膚の根本組織を白く美しく艶々しくし又柔らかき事天鵞絨に觸る如にする美乳獨特の不思議の作用があります

驚くべき効果 既に斯の如き成分と作用とを有する美乳でありますから効果も又眞に驚くべきもので、之を常用すれば、生地から白く美しくなりお年が寄つても小皺の寄る心配なくいつ迄も其の若々しさを保つ事は勿論年中暗光を知らず日焦、面皰、汗疹、剃刀まけ等の憂ひ更になく自分ながら見違へる如な美人になります。故に美乳さへ用つて居れば白粉も化粧水も全く要らなくなります。

外出前に一滴 美乳はホンノリと目立たぬ白さに男子の皮膚を美しく禮儀を尚ぶ近代紳士に取りて最適最新の美身料殊に剃刀の後に之を塗ければ剃刀まけの憂ひは絶對になく塗込んでゐるうちに何とも云へぬ愉快を感ぜられます又會合の席へ出る時とか散歩とかの前にチョット一滴美乳を用ふと其中に含んだ白薔薇の芳香が香水に代用して餘る氣が利き男が見て惚々する位です。

湯上りに一滴 朝夕洗面の後に必ず美乳を塗る習慣がつくに伴れて從來用つた化粧品の類とは全たく異つて日一日と皮膚の白く美しくなるのに驚かれます、殊に湯上の時の美乳一滴は効力が一入著しく又純白美乳は三分化粧には重寶至極、加之何時何處でゞも自由に化粧が出來て化粧崩れの心配が毫もないから令嬢方は純白美乳に限ると近來婦人間の專ら大評判です。

旅行の必携品 新婚時代の若さ美しさがいつまでも保たれゝば是れ程家庭圓滿の因はありませんそれは夢でも理想でもなく近來評判の美乳を半日の美身料として家庭に入れてからといふもの主人も奥樣も揃つて美しくなり揃つて若くなり近所でも羨まるゝ程睦じさが一層濃やかになつて參りました、それもタッタ一週間の試驗が原因だと聞いては誰も彼も驚かぬ者はありません全く日本に初めてです。

釜山出帆廣告

元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三榮平丸 七月 日後四時出

門司、宇品、神戸、大阪行 第三榮平丸 七月 日後四時出

佐須奈、嚴原、博多行 大眞丸 七月四日午後十時出

釜山港埋立新町本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船出帆

下關、大阪直行 第一太湖丸 月 日後四時出

群山、木浦、釜山、下關、大阪行 君が代丸 七月 日後四時出

大有丸 七月 日後四時出

仁川海岸通三丁目(電話五九番) 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

天候都合ノ爲發着日時變更スル事アルベシ各港出帆日時ハ本社又ハ各地代理店ニ就テ御照會相成度シ

敦賀行清津發城津元山經由

平壤丸 七月廿七日 清津發 元山發

浦汐行大阪商船門司釜山元山城津經由

平安丸 七月 日 釜山發 元山發

雄基行 關門發釜山各港經由

京畿丸 七月 日 釜山發
咸鏡丸 七月廿七日 元山發 八月一日 釜山發 八月三日 元山發

元山雄基行(元山迄各港經由)

穩城丸 七月廿五日 元山發

大阪行(浦汐雄基城津元山釜山經由)

越後丸 七月廿八日 元山發 七月三十日 釜山發

金剛山遊覽便 元山發長箭行(六月至十月五ヶ月間)

咸興丸 七月廿九日 元山發

鬱陵島行(釜山發浦項及各港經由)

咸德丸 七月三十日 釜山發

釜山浦項線(釜山發長生浦方魚津九龍浦經由)

江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山浦港發

濟州島行(釜山長承浦麗水巨文島經由)

昌平丸 七月廿八日 釜山發

濟州島行(東廻ハ麗水咸子島經由西廻ハ巨文島經由)

東廻 慶興丸 七月廿九日
西廻 公州丸 七月廿六日 木浦發

釜山麗水線

海州丸 統營丸 毎日 釜山發 麗水發

巨濟丸

木浦麗水線(木浦麗水ニテ釜山行接續)

順天丸 七月廿八日 木浦發

多島海行(木浦發多島海各島行)

慶興丸 八月一日 木浦發

(以下三日目毎ニ木浦發)

木浦行(仁川發各港經由)

全州丸 七月廿九日 仁川發

濟州行(仁川發江華島經由)

錦江丸 毎日一回 仁川發

南陽丸 毎日一回 仁川海州發

鎭南浦行(仁川發各港經由)

晉州丸 八月三日 仁川發

青島行(仁川發各港經由)

山陽丸 七月廿五日 仁川發

朝鮮鐵道ガ社外船ト荷客連絡運送ノ取扱ヲ爲ス
本社 京城南大門通 電話(一九五二、二三三)

釜山 佐藤町 山 支店
元山 港通 山 出張所
仁川 海岸通 堀 回漕部
木浦 代理店 元 回漕部
京城 取扱店 松原 運送店
京城 南大門驛前 電話長二七〇番

其他各港地に荷客取扱店あり

大阪商船出帆

神戸、大阪行(仁川出帆)

△友鹿丸 七月 日 後五時出

群山、大阪行

×安東丸 月 日 正午出

西湖津、新浦、城津、清津行(元山出帆)

須磨丸 八月一日 後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行

高島丸 七月廿六日 後九時出

上海、芝罘、大連、打狗行(大連出帆)

湖北丸 八月十二日 前四時出

基隆丸 七月廿四日 後六時出

内地各港出帆主要航路

歐洲行 一年 四回
南洋行 毎月 一回
濠洲行 一年 四回
北米行 毎月 二回
南米行 毎月 一回

御注意

◎外航各航路ハ旅客ニ限リ五分引ノ特典ヲ與フ(但シ朝鮮航路ヲ除ク)

◎運輸等細ノ説明并ニ切符發賣其他ノ御用ハ左記ヘ御申込ミ乞フ

大阪商船株式會社 仁川支店 電話二一〇番 五〇番

京城 内國通運營業所 電話七〇八番

仁川 京城本町三丁目 朝鮮郵船代理店 電話二一五番

吉田旅館 電話一四二番

仁川 佐々木 電話五七二番

ほか 釜山、元山、群山各代理店

[illegible]